

R-01-2022

MFRI Research Report

山梨県富士山科学研究所研究報告書

第50号

富士山研究

「富士山北麓周遊における観光資源
および交通手段についての来訪者の意向」

令和4年度

山梨県富士山科学研究所

R-01-2022

MFRI Research Report

山梨県富士山科学研究所研究報告書

第50号

富士山研究

「富士山北麓周遊における観光資源
および交通手段についての来訪者の意向」

令和4年度

山梨県富士山科学研究所

はじめに

富士山科学研究所の所在する富士吉田市および周辺市町村の山中湖村、忍野村、富士河口湖町、鳴沢村は富士北麓地域と呼ばれ、山梨県の主要な観光地である。しかし、観光客の多くは富士吉田市および富士河口湖町に集中している。当地域には世界文化遺産「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産が点在し、富士吉田市および富士河口湖町以外にも構成資産は存在している。日本政府がとりまとめ、2016年にユネスコに提出した保全状況報告書では、富士山の保全に取り組む企業・団体・地元関係者等の連携の下に「望ましい富士登山の在り方」を実現するため、指標ごとに定めた望ましい水準の達成を目的として、上方の登山道に着目しつつ、山麓地域を包含した施策を実施するという方向性を打ち出された。上方の登山道については登山者数の平準化、普及啓発の推進などであり、山麓地域については山麓の構成資産への訪問の誘導、山麓地域への周遊の推進が謳われた。周遊は多くの場所を観光客が訪れることであり、世界文化遺産富士山の魅力を伝えるためには富士北麓地域全体を観光する「周遊」の促進が重要であるといえる。

本研究課題では、富士北麓地域の観光客を対象に現地アンケート調査を行い、活発に周遊する観光客の特徴を明らかにするとともに、関東在住者を対象にWebアンケート調査を行い、世界文化遺産富士山に関する情報提供が周遊する観光客を増やす可能性について検証を行った。これらの成果が、行政や観光関係者の一助になることを期待する。

山梨県富士山科学研究所

所長 藤井敏嗣

目 次

はじめに

概要編

I 研究の概要

I-1 研究テーマおよび研究期間	1
I-2 研究体制	1
I-3 研究目的	1
I-4 研究成果の概要	1
I-4-1 現地調査	1
I-4-2 Web アンケート調査	4
I-5 まとめ	7
I-6 研究成果の発表	7
I-7 謝辞	8

本編

II 研究成果報告

II-1 現地調査	9
II-1-1 目的	9
II-1-2 方法	9
II-1-3 単純集計結果	11
II-1-4 訪問市町村数（周遊）に影響を与える要因	21
II-1-5 現地アンケート調査結果のまとめ	22
II-2 Web 調査	23
II-2-1 目的	23
II-2-2 方法	23
II-2-3 Web アンケート調査実施概要	26
II-2-4 単純集計結果	26

II-2-5 選択型実験の推定結果	33
II-2-6 移動手段	34
II-2-7 Web アンケート調査のまとめ	34
II-2-8 引用文献	35
付票	37
現地アンケート調査票（現地回収用）	38
現地アンケート調査票（郵送回収用）	43
現地アンケート調査票（Web 回収用）	48
Web アンケート調査票	69

概 要 編

I 研究の概要

I-1 研究テーマおよび研究期間

研究テーマ：

富士山北麓周遊における観光資源および交通手段についての来訪者の意向

研究期間

平成30年度～31年度（2年間）

I-2 研究体制

研究代表者：藤野 正也（山梨県富士山科学研究所 研究部環境共生科）

研究協力者：長谷川 達也（山梨県富士山科学研究所 研究部環境共生科）

堀内 雅弘（山梨県富士山科学研究所 研究部環境共生科）

宇野 忠（山梨県富士山科学研究所 研究部環境共生科）

栗山 浩一（京都大学大学院 農学研究科）

I-3 研究目的

富士北麓地域（山中湖村、忍野村、富士吉田市、富士河口湖町、鳴沢村）は年間約1,800万人が来訪する山梨県の主要な観光地である。富士山や北口本宮富士浅間神社をはじめとした世界文化遺産構成資産が点在するとともに、自然、文化、観光レクリエーション施設が集積している。当地域全体の活性化を考える際、地域全体の周遊の促進が重要である。周遊とは各地を旅行してまわることである。本研究では複数の市町村で観光することを周遊と定義する。

富士北麓地域全体の周遊を促進するため、富士北麓において世界遺産の構成資産に登録された観光資源や周辺観光地に対する観光客の意向を明らかにすると共に、観光客が富士北麓地域を周遊する際の交通手段に望む要素を明らかにした。そして、観光客のニーズに基づいた交通政策の基礎資料を提示することを目的とした。

調査方法は、富士北麓地域の観光客に対してアンケート調査を行う「現地調査」と、富士北麓地域への訪問意向のある関東地方在住者に対してインターネットを通じてアンケート調査を行う「Web調査」の2つである。現地調査結果を基に活発に周遊を行っている観光客の特徴を、順序ロジットモデルを用いて明らかにした。また、富士北麓地域を観光する際に、人々がどのようなことをどれくらい重視するのかを、Web調査による選択型実験の結果を基に、条件付きロジットモデルにより明らかにした。

I-4 研究成果の概要

I-4-1 現地調査

1) 定量的把握の方法

富士北麓地域で活発に周遊している観光客の特徴を明らかにするために、2018年8月3日～5日に、富士山吉田口登山道泉ヶ滝、富士山吉田口五合目広場、富士急河口湖駅、道の駅なるさわの4カ所でアンケート

調査を実施した。調査対象は観光客とし、地元住民および別荘地滞在者による当地域内の観光も対象とした。主な調査項目は旅行日数、同行者、旅行目的、訪問場所、移動手段である。

調査票の回収方法として、現地回収（その場で回収）、郵送回収、Web 回収（Web に設置したアンケートフォームに入力）の 3 種類を用意した。調査項目は同一である。現地回収の場合は紙の調査票のみ、郵送回収は紙の調査票と返送用封筒、Web 回収はアンケートフォームへアクセスするための URL および QR コードを記したカードをそれぞれ配布した（図 1）。どの回収方法となるかは無作為とした。回答期限は 2018 年 9 月 30 日とした。

2,690 人に回答を依頼し、1,925 人が調査票（またはカード）を受け取った。このうち 895 人から回答があり、有効回答は 657 人であった（有効回答率 73%）。



図 1 配布したカードの例

2) 主な単純集計結果

旅行日数は 2 日間（45%）が最も多く、同行者は家族（49%）が最も多かった。訪問場所をもとに訪問市町村を数えたところ、訪問市町村は富士河口湖町（59%）、富士吉田市（53%）、鳴沢村（52%）が多く、山中湖村は 22%、忍野村は 18%であった。山中湖村と忍野村では調査していないことが影響している可能性は否定できない。訪問市町村数は 1 市町村が 37%であり、63%の回答者が 2 市町村以上を訪問していた。

旅行目的は富士登山（29%）、家族親睦（23%）、自然観光（23%）が多かった。一方で世界遺産観光は 7%、世界遺産以外の名所旧跡巡りは 3%と少なかった。移動手段はマイカーが多かった（55%）。

3) 訪問市町村数（周遊）に影響を与える要因

観光客の周遊行動には、どのような要因が影響しているのかを明らかにするための分析を行った。ここでは立ち寄った訪問市町村数（1市町村～5市町村）に対して、旅行日数、子供の有無、旅行目的、自宅からの旅行手段、所得の影響を検証した。具体的には、訪問市町村数（1市町村～5市町村）を応答変数とし、説明変数は旅行日数（日帰りの場合は1であり、2日間の場合は2というように旅行日数が数値となる）、子供の有無（子供なしの場合は0、子供ありの場合は1）、旅行目的（「富士登山」「世界遺産」などの目的ごとに、該当しなければ0、該当すれば1となる：15変数）、自宅からの旅行手段（「マイカー」「電車」などの手段ごとに、該当しなければ0、該当すれば1となる：10変数）、所得（200万円未満は1、200万円台は2、300万円台は3、・・・、1500万円以上は15）とした。分析には順序ロジットモデルを用いた。分析に先立ち、重回帰分析を行い、説明変数間の多重共線性を検出するための指標の一つである分散拡大係数(VIF)を算出した。その結果、いずれの説明変数もVIFは10未満であり、多重共線性はないと考えられた。

また、分析に際しバックワードステップワイズ法を使用した。すなわち、すべての説明変数を用いて分析を行い、すべてのP値が10%水準で有意となるまで、P値が大きい変数から削除した。

その結果、旅行日数の係数はプラスとなり、旅行日数が増えると訪問市町村数も増えることが明らかとなった（表1）。また、旅行目的が世界遺産以外の名所旧跡、世界遺産、自然名所、グルメなどの観光であったり、家族親睦であったりする場合、係数がプラスであることから訪問市町村数が増える傾向にあることが明らかとなった。一方、ご来光や富士登山の場合は係数がマイナスであることから減る傾向にあることが明らかとなった。さらに、移動手段がツアーバスやマイカーである場合は増える傾向にあることが明らかとなった。一方、子供の有無や所得は係数が有意とはならず、訪問市町村数に影響しないことが明らかとなった。

表1 推定結果

変数	偏回帰係数	z値	95% 信頼区間	
旅行日数	0.40	5.32 **	0.25	0.54
目的_ご来光	-0.99	-3.69 **	-1.51	-0.46
目的_富士登山	-0.55	-2.49 *	-0.98	-0.12
目的_世界遺産	0.77	2.70 *	0.21	1.34
目的_名所旧跡	0.97	2.11 *	0.07	1.86
目的_自然名所	0.60	3.25 **	0.24	0.97
目的_グルメ	0.56	2.61 *	0.14	0.98
目的_家族親睦	0.80	4.26 **	0.43	1.16
目的_特にない	-3.44	-2.18 *	-6.52	-0.35
移動_ツアーバス	0.81	3.23 **	0.32	1.31
移動_マイカー	0.64	3.53 **	0.29	1.00
対数尤度	-774.63			
疑似決定係数	0.10			

注：**、*はそれぞれ1%、5%で有意であることを意味する。

I-4-2 Web アンケート調査

1) 調査方法

人々が観光を計画する際に考慮する事項は、旅行目的（例：家族親睦、グルメ、ドライブ）、訪問地（例：山中湖、富士急ハイランド、富士吉田市周辺）、移動手段（自動車、観光バス、公共交通機関）、所要時間、交通費などである。富士北麓地域を観光する際に、人々がどの事項がどれくらい重視するのかを明らかにするために、Web アンケートを用いた選択型実験を行った。これは観光を計画する際に考慮する事項を仮想的に組合せて旅行計画を作成し、複数の旅行計画の中から 1 つの旅行計画を選ばせるという方法である。現実には旅行は様々な事項が考慮されるが、組合せを多くすると有効な回答が得られにくくなることが知られている。本研究で仮想的に組み合わせる事項は旅行目的、訪問場所、移動手段、北麓地域内での交通費の 4 項目（表 2）とし、表 2 に基づいて仮想的な旅行計画（プロフィール）を作成した。

選択型実験では仮想的な複数の観光コースの中から最も好ましいもの 1 つを選択させた。その後、提示する観光コースを変えて、再び最も好ましいもの 1 つを選択させた。本実験では回答者 1 人につき質問を 3 回提示した。3 回の質問を 1 セットとすると、本実験では 2 セット用意し、回答者にはランダムにどちらかのセットを提示した。また、選択型実験に先立ち、世界遺産の情報を提供するグループ（以下、A グループ）と、しないグループ（以下、B グループ）に回答者をランダムに分けた。A グループに提供した情報は、世界文化遺産富士山は 25 の構成資産から成り立っている、という内容である。A グループは情報提供のあとに選択型実験を行った。選択型実験で提示する観光コースはグループとは関係なく提示した。A グループと B グループで回答結果が異なれば、情報提供が影響したと考えることができる。プロフィールは Ngene Ver. 1.1.2 を用いて D 効率性 (Huber and Zwerina, 1996) を考慮して作成した。プロフィールは 12 個作成し、この中から重複なく 2 個を選ぶとともに、「この中からは選ばない」選択肢 1 個を含めた計 3 個による質問セットを 6 セット作成した。さらに、6 セットを 2 ブロックに分割し、回答者 1 名あたり 1 ブロック (3 セット) を回答させた (図 2)。どちらのブロックを回答させるかはランダムに決定し、提示情報もランダムに提示した。

選択型実験の回答結果はランダム効用理論に基づく条件付きロジットモデル (McFadden, 1974) を用いて推定を行う。推定には Stata の clogit コマンドを使用する。得られた偏回帰係数を用いて、旅行において考慮される事項の限界支払意志額 (MWTP：例えば自動車を使用することに支払ってもよいと回答者が考える最大の金額) を算出し、事項間の比較や情報提供有無による比較を行う。MWTP の信頼区間は 90% として、Krinsky and Robb (1986) のモンテカルロ・シミュレーションにより推定する。ランダム効用理論においては、MWTP が高いということは、その事項が選択される確率が高いということを意味する。

表 3 は推定に使用する説明変数の一覧である。交通費以外は該当すれば 1、そうでなければ 0 とするダミー変数を設定した。場所については山中湖村、忍野村、富士吉田市、富士河口湖町、鳴沢村の 5 市町村について「5 市町村」というダミー変数を設定し、富士河口湖町・富士吉田市の 2 市町については設定しなかった。移動手段については、ツアーバスおよび路線バスについて、それぞれダミー変数を設定し、自動車には設定しなかった。交通費は連続変数として扱った。情報提供については各変数と情報提供有無の交差項として扱い、情報提供があれば各変数の値を取り、情報提供がなければ 0 となる変数とした。本研究では「この中からは選ばない」を選択肢 3 として設定しているが、推定結果を比較しやすくするために、「この中からは選ばない」場合の効用を 0 とし、3 個の目的についてのダミー変数を使用し、選択肢固有定数項は使用しない。

推定は、最初はすべての説明変数を使用し、偏回帰係数の P 値が最も大きなものを除外して次の推定を行い、赤池情報統計量 (AIC) が最も小さくなるモデルを求めた。なお、偏回帰係数の信頼区間は 90% とした。

2) Web アンケート調査実施概要

Web アンケート調査票の配布は株式会社日経リサーチに委託し、同社に登録しているアンケートモニター

を対象に実施した。調査期間 2019 年 12 月 13 日から 17 日の 5 日間であり、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 の 20~69 歳の男女を対象に配信し、1,049 人から回答を得た。うち有効回答は 913 人（有効回答率 87%）であった。

3) 結果

表 4 は人々がどのような観光コースを選択するのかを、限界支払意思額によって推定したものである。AIC 最小モデルの結果を示した (AIC=5102)。交通費、目的、場所、移動手段の各変数は 10%水準で有意となった。偏回帰係数の大きさを見ると、5 市町村は負となったことから、2 市町と比べて選択されにくいといえる。移動手段はツアーバス、路線バス共に負となったことから、自動車と比べて選択されにくいといえる。情報提供との交差項は、目的の 3 変数はいずれも正で有意となったことから、情報提供が行われることで、いずれの目的であっても選択されやすくなったと言える。場所は負で有意となったことから、情報提供が行われることで 5 市町村はより選択されにくくなったといえる。移動手段の 2 変数および交通費は有意にはならなかったことから、情報提供の影響はないといえる。

MWTP の平均の大きさを見ると、目的では世界遺産と自然名所の「両方」が 10,177 円、世界遺産が 9,066 円、自然名所が 8,758 円となり、「両方」の価値が最も高くなった。これは世界遺産と自然名所の「両方」に行くために支払っても良い金額の平均が 10,177 円であるということの意味する。しかし、90%信頼区間の上限と下限を見ると、「両方」であれば 8,902 円となる可能性もあり、自然名所も 9,945 円となる可能性もあり、必ずしも「両方」が「世界遺産」や「自然名所」よりも価値が高いとは言えない結果となった。場所の MWTP は負であるが、これは 2 市町に行く価値よりも、5 市町村に行く価値が平均で 1,360 円低いということの意味する。同様に、移動手段は、自動車を使う価値よりもツアーバスを使う価値は平均で 435 円低く、路線バスは平均で 3,900 円低いということの意味する。これらを総合すると、例えば目的は世界遺産で、場所は 2 市町、移動手段はツアーバスのコースの価値の平均は $9,066 \text{ 円} + 0 \text{ 円} - 435 \text{ 円} = 8,631 \text{ 円}$ となる。

情報提供により各目的も MWTP が正、つまり各目的の価値が高くなった。例えば [目的：世界遺産、場所：2 市町、移動：ツアーバス] のコースの価値の平均は、情報提供により $8,631 \text{ 円} + 1,674 \text{ 円} = 10,305 \text{ 円}$ となる。このコースに関して、情報提供を受けた人は受けていない人よりもこのコースを選択しやすくなるといえる。[目的：世界遺産、場所：5 市町村、移動：自動車] のコースに注目すると、情報提供なしの場合は 7,706 円だが、情報提供があることで価値が 8,732 円となる。情報提供があることで、他のコース（例えば [目的：自然名所、場所：2 市町、移動：自動車]）の価値も高くなることから、全体的に観光客が増える可能性がある。この結果、2 市町のみならず、5 市町村を選択する（周遊する）観光客も増加すると考えられる。ただし、5 市町村を周遊する観光客がどの程度増えるのかを明らかにするためには、実際に要する交通費の金額などを用いてシミュレーションする必要がある。

表 2 項目と内容

項目	内容
旅行目的	世界遺産メイン、自然名所メイン、世界遺産・自然名所
訪問場所	2市町、5市町村
移動手段	自動車、ツアーバス、路線バス
交通費	1,000円、2,000円、3,000円、4,000円

表 3 説明変数一覧

変数名	形式	注
交通費	連続変数	
目的_世界遺産	該当すれば1、しなければ0	
目的_自然名所	該当すれば1、しなければ0	3変数のうち、必ず1つだけ1となる
目的_両方	該当すれば1、しなければ0	
場所_5市町村	該当すれば1、しなければ0	
移動_ツアーバス	該当すれば1、しなければ0	2変数が同時に1となることはない
移動_路線バス	該当すれば1、しなければ0	
情報あり×交通費	連続変数	
情報あり×目的_世界遺産	該当すれば1、しなければ0	
情報あり×目的_自然名所	該当すれば1、しなければ0	3変数のうち、必ず1つだけ1となる
情報あり×目的_両方	該当すれば1、しなければ0	
情報あり×場所_5市町村	該当すれば1、しなければ0	
情報あり×ツアーバス	該当すれば1、しなければ0	2変数が同時に1となることはない
情報あり×路線バス	該当すれば1、しなければ0	

質問セット1

質問1

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	この中からは 選ばない
主な旅行目的	世界遺産・自然名所	自然名所メイン	
主な訪問地域	河口湖・富士吉田	河口湖・富士吉田	
域内での移動手段	自動車	ツアーバス	
域内1人あたり交通費	3,000円	2,000円	

質問セット2

質問1

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	この中からは 選ばない
主な旅行目的	世界遺産メイン	世界遺産・自然名所	
主な訪問地域	北麓全般	河口湖・富士吉田	
域内での移動手段	自動車	路線バス	
域内1人あたり交通費	2,000円	2,000円	

質問2

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	この中からは 選ばない
主な旅行目的	世界遺産メイン	自然名所メイン	
主な訪問地域	河口湖・富士吉田	北麓全般	
域内での移動手段	ツアーバス	自動車	
域内1人あたり交通費	2,000円	1,000円	

質問2

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	この中からは 選ばない
主な旅行目的	自然名所メイン	世界遺産メイン	
主な訪問地域	北麓全般	北麓全般	
域内での移動手段	路線バス	路線バス	
域内1人あたり交通費	4,000円	1,000円	

質問3

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	この中からは 選ばない
主な旅行目的	自然名所メイン	世界遺産・自然名所	
主な訪問地域	河口湖・富士吉田	北麓全般	
域内での移動手段	路線バス	ツアーバス	
域内1人あたり交通費	1,000円	4,000円	

質問3

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	この中からは 選ばない
主な旅行目的	世界遺産・自然名所	世界遺産メイン	
主な訪問地域	北麓全般	河口湖・富士吉田	
域内での移動手段	ツアーバス	自動車	
域内1人あたり交通費	1,000円	3,000円	

図 2 プロファイルセット

表 4 推定結果

変数	偏回帰係数			限界支払意志額 (円)		
	平均	下限	上限	平均	下限	上限
交通費	-0.27 ***	-0.31	-0.22			
目的_世界遺産	2.43 ***	2.18	2.67	9,066	7,925	10,207
目的_自然名所	2.35 ***	2.06	2.63	8,758	7,571	9,945
目的_両方	2.73 ***	2.43	3.02	10,177	8,902	11,452
場所_5市町村	-0.36 ***	-0.51	-0.22	-1,360	-1,862	-859
移動_ツアーバス	-0.12 **	-0.21	-0.03	-435	-765	-106
移動_路線バス	-1.04 ***	-1.23	-0.86	-3,900	-4,537	-3,263
情報あり×目的_世界遺産	0.45 ***	0.21	0.69	1,674	732	2,616
情報あり×目的_自然名所	0.49 ***	0.22	0.75	1,811	791	2,832
情報あり×目的_両方	0.37 **	0.1	0.64	1,396	367	2,426
情報あり×場所_5市町村	-0.17 *	-0.34	-0.01	-648	-1,266	-30

注：***、**、*は有意水準 1%、5%、10%でそれぞれ有意であることを意味する。

I-5 まとめ

- 現地調査の結果から、富士北麓地域での旅行は家族旅行が多いとともに、家族親睦を目的としていると訪問市町村数が多い、つまり、活発に周遊することが明らかとなった。このため、周遊を促進するには家族旅行を増やすことが効果的であると考えられた。
- 一方、世界遺産や名所旧跡巡りを目的とした旅行は周遊には効果的であったが、そのような旅行を行う人は比較的少数であった。このため、新しい客層として世界遺産や名所旧跡巡りを目的とした旅行を増やすための対策が重要であると考えられた。
- Web 調査では世界遺産についての情報を提供することで、周遊する観光客が増えるかどうかを検証した。その結果、富士北麓地域全体で観光客が増えると考えられ、周遊する観光客も増加すると考えられた。
- 富士吉田市と富士河口湖町の 2 市町と、山中湖村、忍野村、鳴沢村を加えた 5 市町村を比較すると、情報提供により 2 市町の方が観光客の増加は大きいと考えられた。しかし、5 市町村への観光客も増加すると考えられたことから、5 市町村への周遊が増えると考えられた。
- 富士北麓地域内の移動手段としては自動車が好まれているが、ツアーバスと路線バスを比較すると、ツアーバスの方が好まれることが明らかとなった。

I-6 研究成果の発表

藤野正也，長谷川達也，堀内雅弘，宇野忠，小笠原輝（2019）富士北麓地域における観光客の周遊行動. 第 130 回日本森林学会大会（新潟）

藤野正也，長谷川達也，堀内雅弘，宇野忠，小笠原輝（2019）富士北麓地域における観光客と登山者の周遊行動の違い．環境経済・政策学会 2019 年大会（福島）

藤野正也，栗山浩一（2020）世界遺産についての情報提供が観光客の周遊行動に及ぼす影響— 富士北麓地域を対象として—．環境経済・政策学会 2020 年大会（オンライン）

I-7 謝辞

本研究の遂行に当たり、現地調査に協力いただいた山梨県富士山科学研究所の小笠原輝研究員、池口仁研究員、瀧口千恵子助手、矢野安曇助手に謝意を表します。

本 編

II 研究成果報告

II-1 現地調査

II-1-1 目的

富士北麓地域（山中湖村、忍野村、富士吉田市、富士河口湖町、鳴沢村）は年間約1,800万人が来訪する山梨県の主要な観光地である。富士山や北口本宮富士浅間神社をはじめとした世界文化遺産「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産が点在している。日本政府がとりまとめ、2016年にユネスコに提出した保全状況報告書では、富士山の保全に取り組む企業・団体・地元関係者等の連携の下に「望ましい富士登山の在り方」を実現するため、指標ごとに定めた望ましい水準の達成を目的として、上方の登山道に着目しつつ、山麓地域を包含した施策を実施するという方向性を打ち出された。上方の登山道については登山者数の平準化、普及啓発の推進などであり、山麓地域については山麓の構成資産への訪問の誘導、山麓地域への周遊の推進が謳われた。

また、富士山周辺は富士伊豆箱根国立公園に指定され豊かな自然がある他、文化、観光レクリエーション施設が集積している。しかし、観光客の多くは富士吉田市および富士河口湖町に集中している。世界文化遺産の全体像を伝えるためのみならず、当地域全体の活性化を考える際、観光客が地域全体を周遊するよう促進することが重要である。周遊とは各地を旅行してまわることである。本研究では複数の市町村で観光することを周遊と定義する。

現地調査では周遊の実態を明らかにするとともに、活発に周遊している観光客の特徴を明らかにする。

II-1-2 方法

2018年8月3日～5日に、富士山吉田口登山道泉ヶ滝、富士山吉田口五合目広場、富士急河口湖駅、道の駅なるさわの4カ所でアンケート調査を実施した。統計調査に基づいたものではないが、これら4箇所は多くの観光客が訪れることから、調査場所として選定した。また、多くの観光客が訪れる富士急ハイランドは富士急ハイランドのみを訪れると考えられることから、調査場所から除外した。調査対象は観光客とし、地元住民および別荘地滞在者による当地域内の観光も対象とした。主な調査項目は今回の旅行、今回の富士北麓地域の旅行、回答者の属性情報である（表1）。

調査票の回収方法として、現地回収（その場で回収）、郵送回収、Web回収（Webに設置したアンケートフォームに入力）の3種類を用意した。調査項目は同一である。現地回収の場合は紙の調査票のみ、郵送回収は紙の調査票と返送用封筒、Web回収はアンケートフォームへアクセスするためのURLおよびQRコードを記したカードをそれぞれ配布した（図1）。どの回収方法となるかは無作為とした。回答期限は2018年9月30日とした。一般に、富士山でのアンケート調査は現地回収方法が採用されるが、今後の調査における回収率向上を検討するために、これら3種類の方法を採用し、回収率の違いを比較した。

2,690人に回答を依頼し、1,925人が調査票（またはカード）を受け取った（表2）。このうち895人から回答があり、有効回答は657人であった（有効回答率73%）。現地回収の回収率は99%、郵送回収は29%、Web回収は14%であった。

表 1 調査票の構成

番号	項目	主な質問事項
1	今回の旅行	旅行日数、同行者
2	今回の富士北麓地域の旅行	目的地、移動手段、滞在日数
3	回答者の属性情報	住所、年齢、職業

	表	裏
五 合 目	<p>富士北麓地域の観光をより良くするためのアンケート調査にご協力ください</p> <p>回答時間は5分程度です。 回答期限：9月30日</p> <p>https://goo.gl/forms/CreUerzHF7NFykh43</p>  <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやタブレットでQRコードを読み込むか、上記アドレスにアクセスしてご回答ください。 1家族で1回だけお答え下さい。 <p>山梨県富士山科学研究所 〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾 5597-1 担当：藤野 電話 0555-72-6211 (代表) maasayafujino@mfri.pref.yamanashi.jp</p>	
道 の 駅 な る さ わ	<p>富士北麓地域の観光をより良くするためのアンケート調査にご協力ください</p> <p>回答時間は5分程度です。 回答期限：9月30日</p> <p>https://goo.gl/forms/emSvdTmJRpFJRT72</p>  <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやタブレットでQRコードを読み込むか、上記アドレスにアクセスしてご回答ください。 1家族で1回だけお答え下さい。 <p>山梨県富士山科学研究所 〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾 5597-1 担当：藤野 電話 0555-72-6211 (代表) maasayafujino@mfri.pref.yamanashi.jp</p>	 <p>笠雲をかぶった富士山</p>
河 口 湖 駅	<p>富士北麓地域の観光をより良くするためのアンケート調査にご協力ください</p> <p>回答時間は5分程度です。 回答期限：9月30日</p> <p>https://goo.gl/forms/1sRMxGB0jiv6RCD2</p>  <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやタブレットでQRコードを読み込むか、上記アドレスにアクセスしてご回答ください。 1家族で1回だけお答え下さい。 <p>山梨県富士山科学研究所 〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾 5597-1 担当：藤野 電話 0555-72-6211 (代表) maasayafujino@mfri.pref.yamanashi.jp</p>	 <p>忍野八海からの富士山</p>

図 1 配布したカードのデザイン

注：各カードは名刺サイズ（91mm×55mm）である。

表 2 調査票の配布数および回収数

方法	場所	配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
現地	富士山五合目	133	128	80	63%
	河口湖駅	192	192	127	66%
	道の駅なるさわ	281	281	217	77%
	計	606	601	424	71%
郵送	富士山登山道	228	33	27	82%
	富士山五合目	164	70	47	67%
	河口湖駅	67	20	17	85%
	道の駅なるさわ	264	90	74	82%
計	723	213	165	77%	
Web	富士山五合目	189	35	32	91%
	河口湖駅	159	20	16	80%
	道の駅なるさわ	248	26	20	77%
計	596	81	68	84%	
計		1,925	895	657	73%

注：富士山登山道は同時に実施した別調査への協力者に対し、郵送回収による調査票のみを配布した。

II-1-3 単純集計結果

1) 今回の旅行

回答者の概要を把握するために、単純集計結果を示す。特に記述のない限り、回答者数は657である。単一回答の場合は回答数に対する当該選択肢の構成比を、複数回答の場合は回答対象者数に対する当該選択肢の回答数の回答率をそれぞれ表示している。なお、端数処理のために構成比の計は100%とはならないことがある。

旅行日数は2日が最も多く45.1%となり、次いで1日が30.7%であった(図2)。同行者は家族・親族が49.5%と最も多かった(図3)。同行者の年代は18~64歳が85.4%と最も多く、65歳以上が21.3%であった。子供は乳幼児が10.4%、小学生が16.7%であったが、中学生は8.5%、高校生は4.7%と少なかった(図4)。

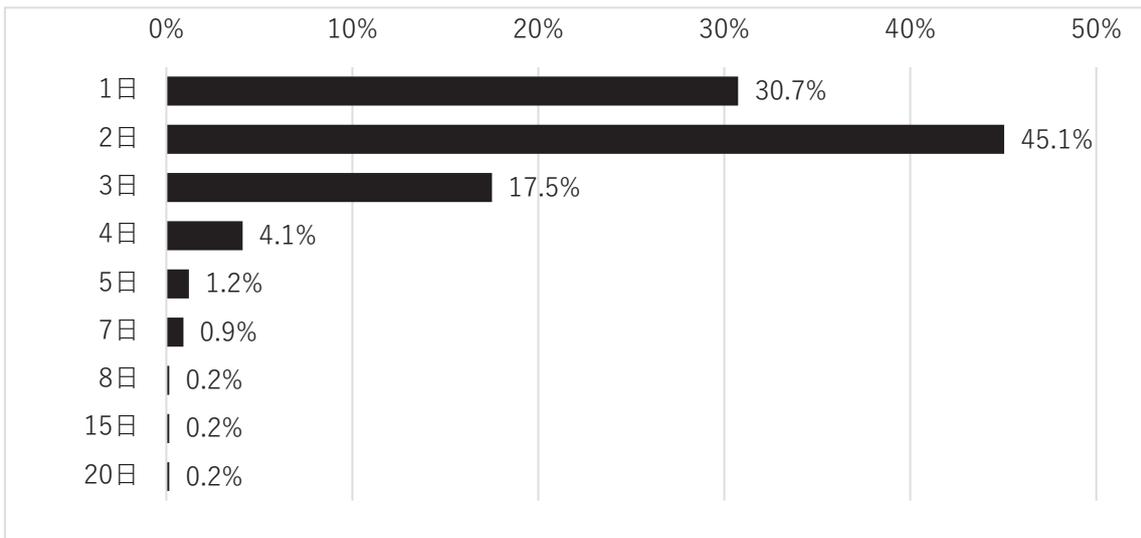


図 2 問1 旅行日数 (単一回答)

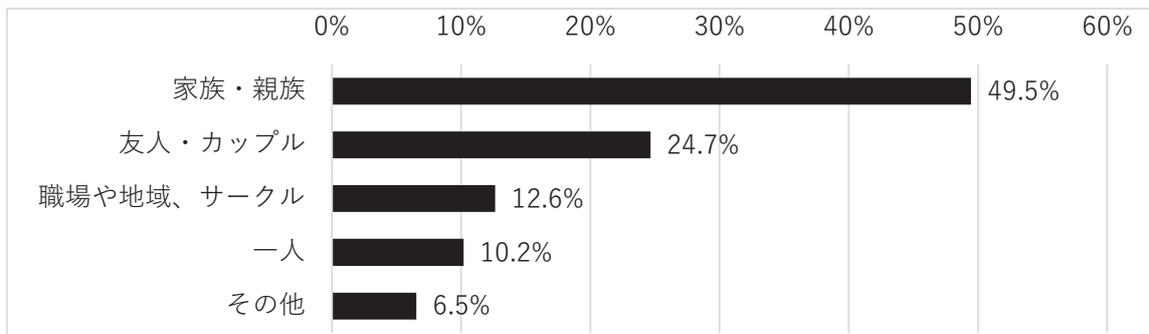


図 3 問2 同行者 (複数回答)

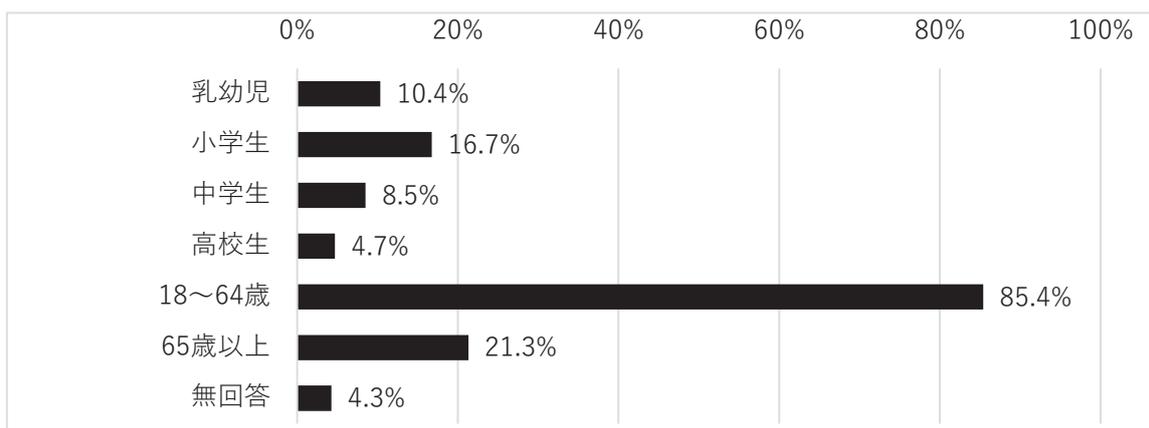


図 4 問3 年齢別同行者数 (複数回答)

2) 今回の富士北麓地域の旅行

富士北麓地域を目的地としていることを有効回答の条件としたことから、富士北麓地域は100%である(図5)。富士北麓地域に加えて別の地域を目的地とした旅行は6.2%、山梨県以外の別の地域を目的地とした旅

行は4.3%であり、富士北麓地域を訪問する際は観光客は他地域に行かないことが分かった。

旅行目的は富士登山が28.8%、家族旅行、家族との親睦が23.3%、自然名所観光が22.5%であった(図6)。富士登山者に対してアンケート調査を行ったことから、富士登山の回答率が高かったと考えられた。

行きの行程は大月方面から中央道または一般道を通して自動車(自家用車、高速バスなど)で当地域に来たとの回答が39.1%と最も多かった(図7)。帰りの行程も同様に中央道または一般道を通して自動車で大月方面へ行ったという回答が37.3%と最も多かった(図8)。

市町村別の訪問場所は、山中湖村では山中湖(18.1%)、忍野村では忍野八海(14.5%)、富士吉田市では富士山五合目(26.8%)、河口湖町では河口湖(31.8%)、鳴沢村では道の駅なるさわ(44.1%)が多かった(図9、図10、図11、図12、図13)。

移動手段は居住地から富士北麓地域まではマイカーが54.8%と最も多く、富士北麓地域内での移動もマイカーが51.1%と最も多かった。地域外からの移動手段として路線バスは2.1%であったが、地域内の移動手段としては14.5%が利用していた(図14、図15)。

今回の旅行で富士北麓地域での滞在日数を増やすことが可能であったと答えたのは14.2%であり、74.1%ができなかったと回答した(図16)。増やすことが可能であったと回答した人に対し何日増やすことができたかを尋ねたところ、1日が53.8%と最も多かった(図17)。

全員に対し、どのような条件を整えば、富士北麓地域内の周遊を行いたい、またはより多くの場所を周遊したいと思うかを尋ねたところ、連休が取れるが48.1%と最も多く、次いで美味しいものが食べられる(24.8%)が多かった(図18)。

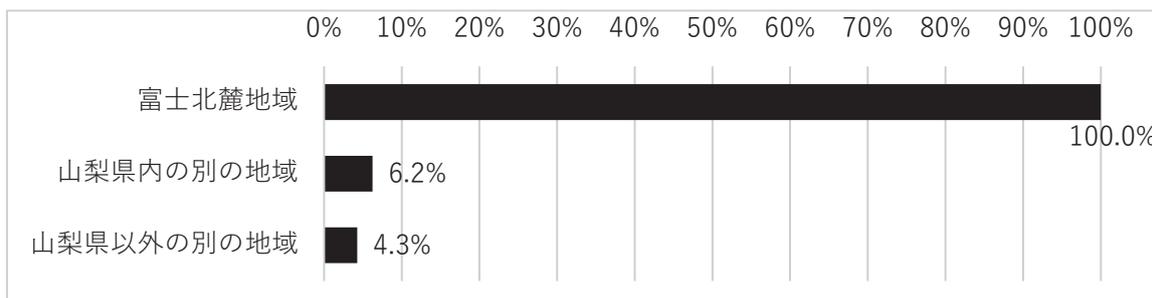


図5 問4 目的地(複数回答)

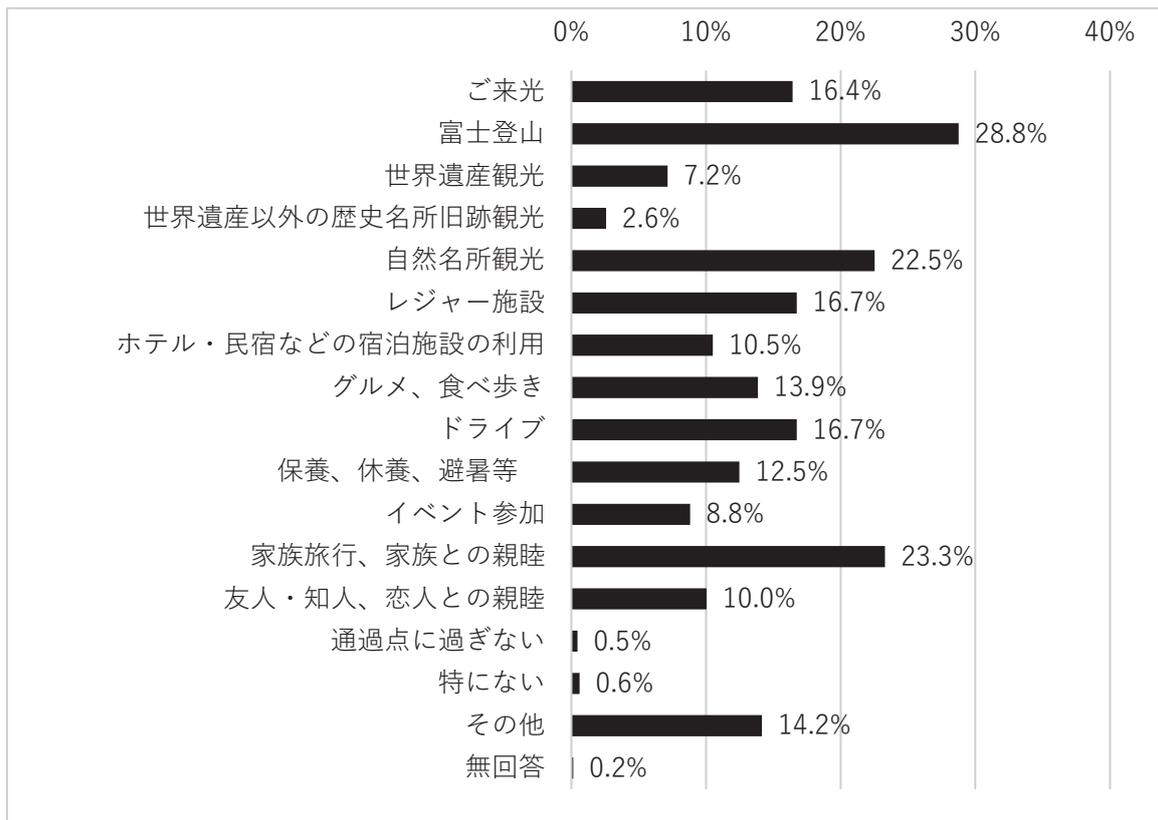


図 6 問 5 旅行の目的（複数回答）

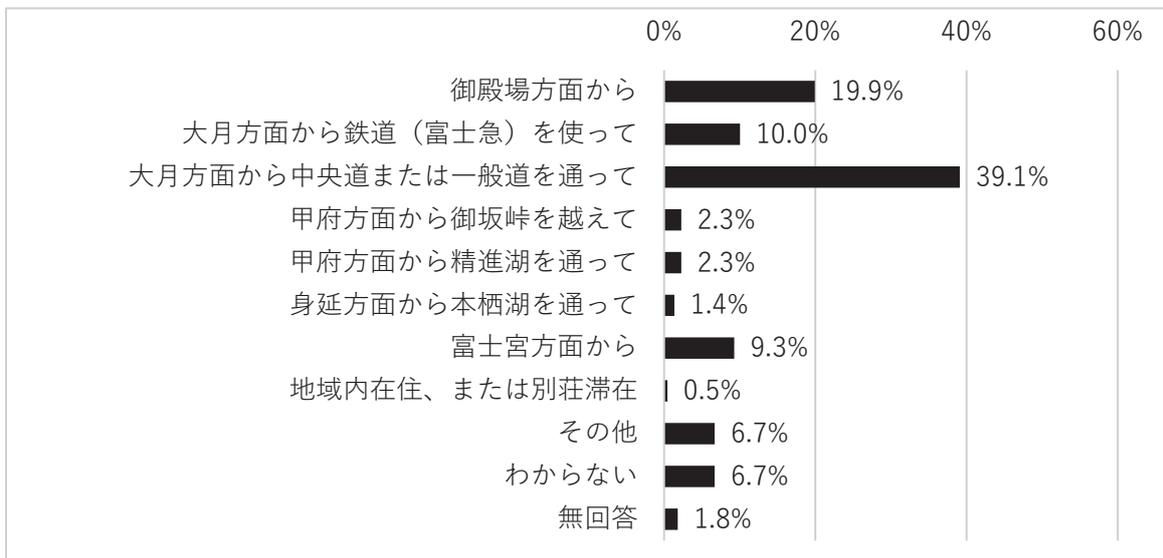


図 7 問 6 行き道のり（単一回答）

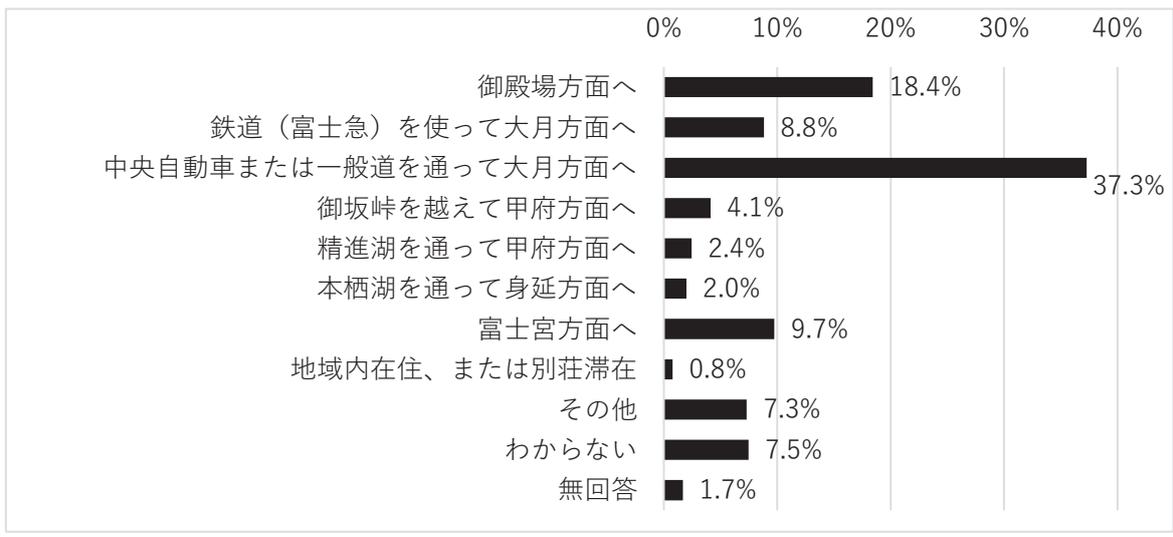


図 8 問 8 帰りの道のり（単一回答）

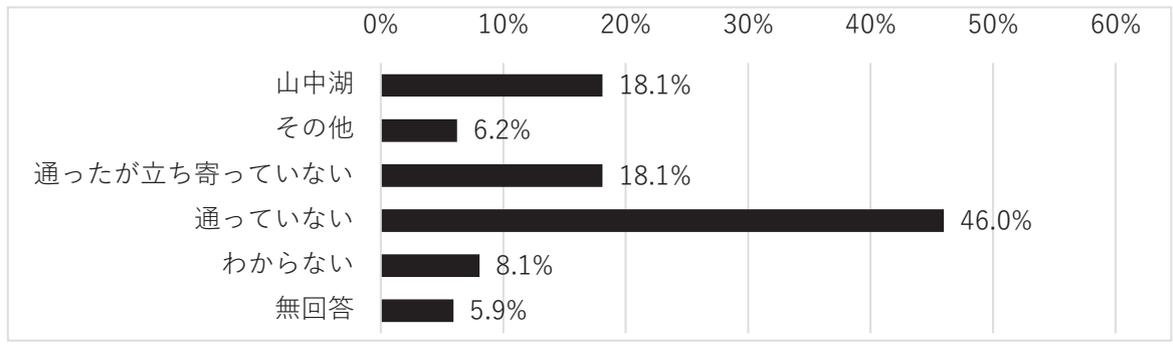


図 9 問 10 山中湖（複数回答）

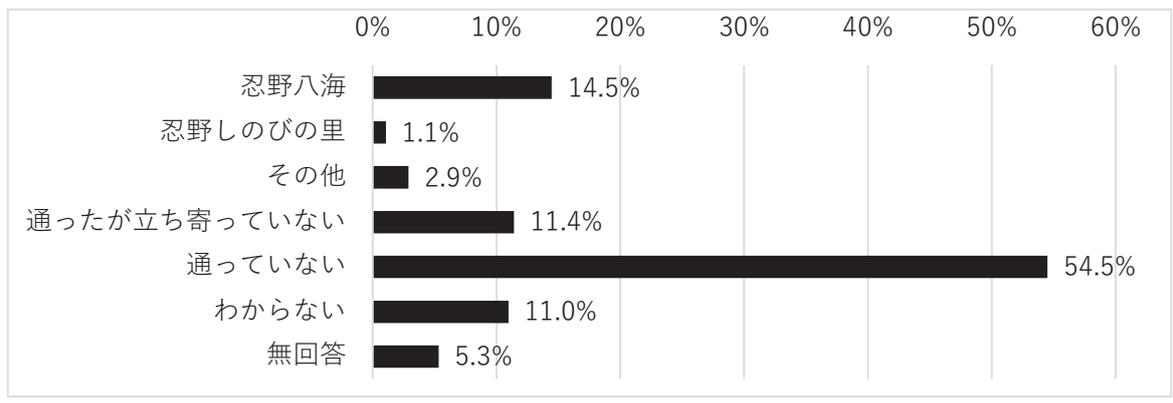


図 10 問 11 忍野村（複数回答）

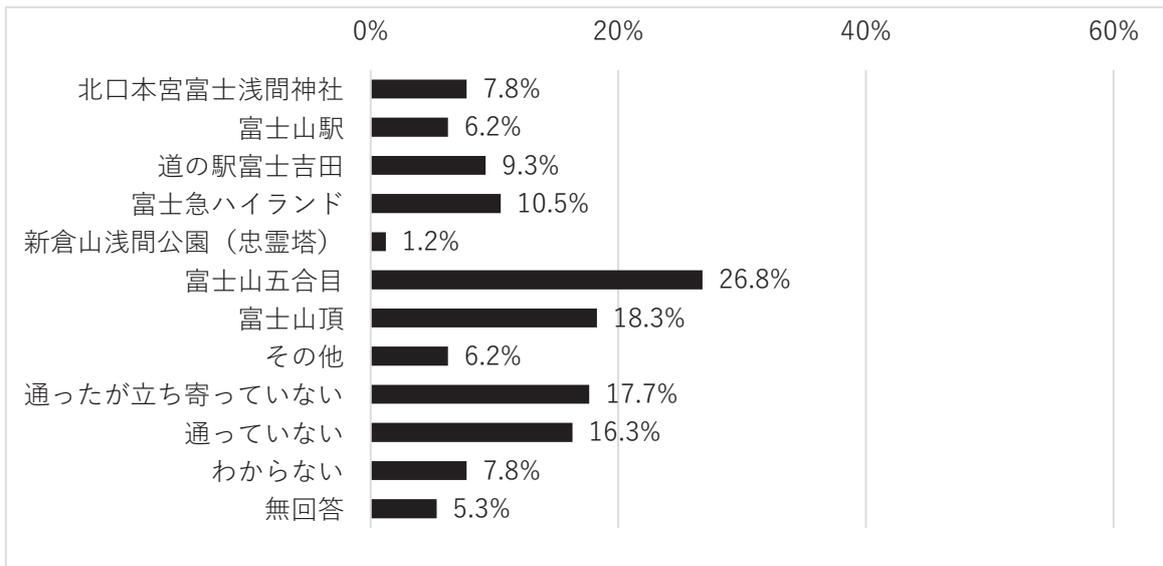


図 11 問 12 富士吉田市（複数回答）

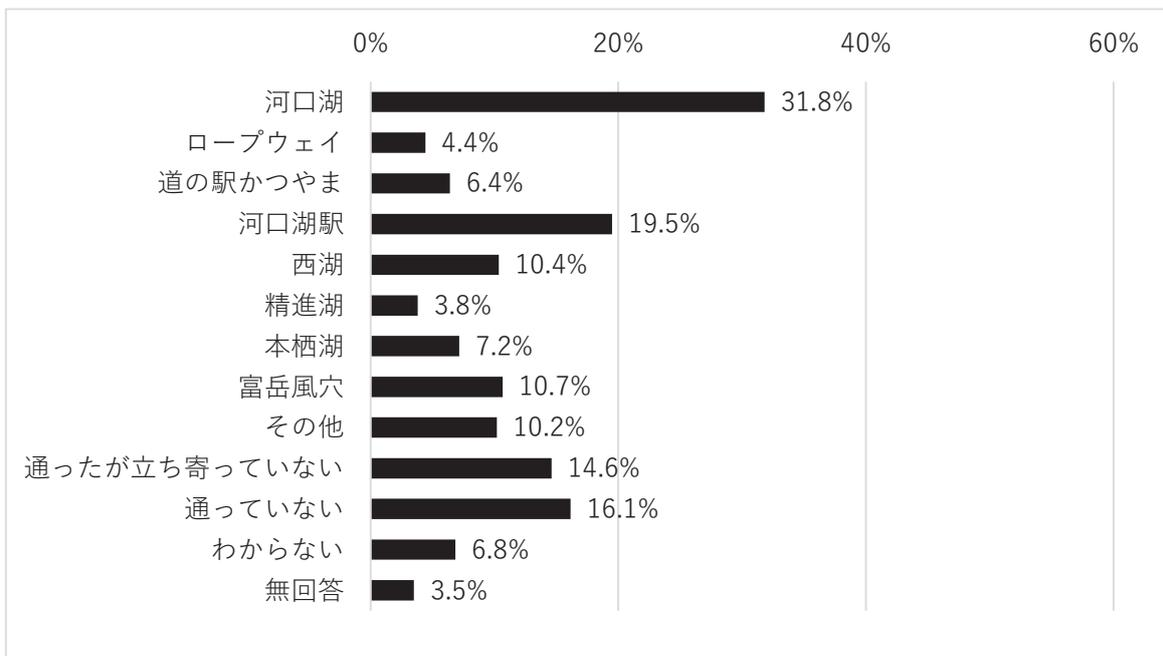


図 12 問 13 河口湖（複数回答）

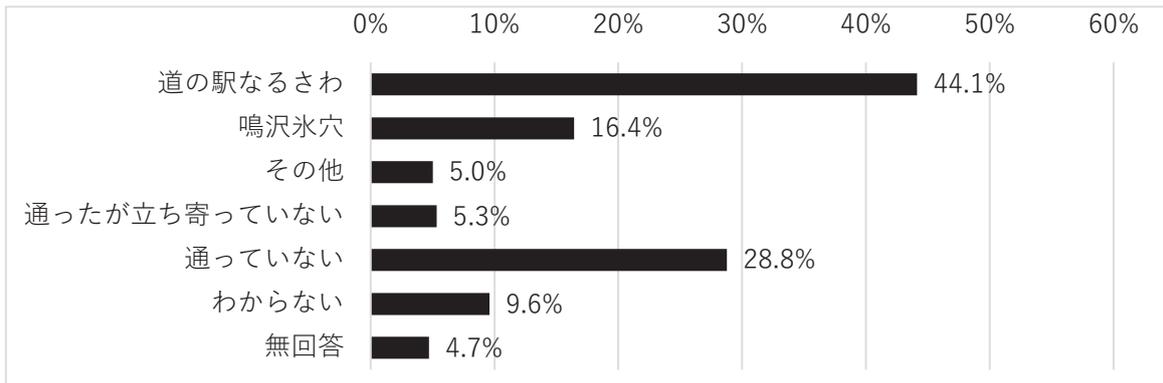


図 13 問 14 鳴沢村（複数回答）

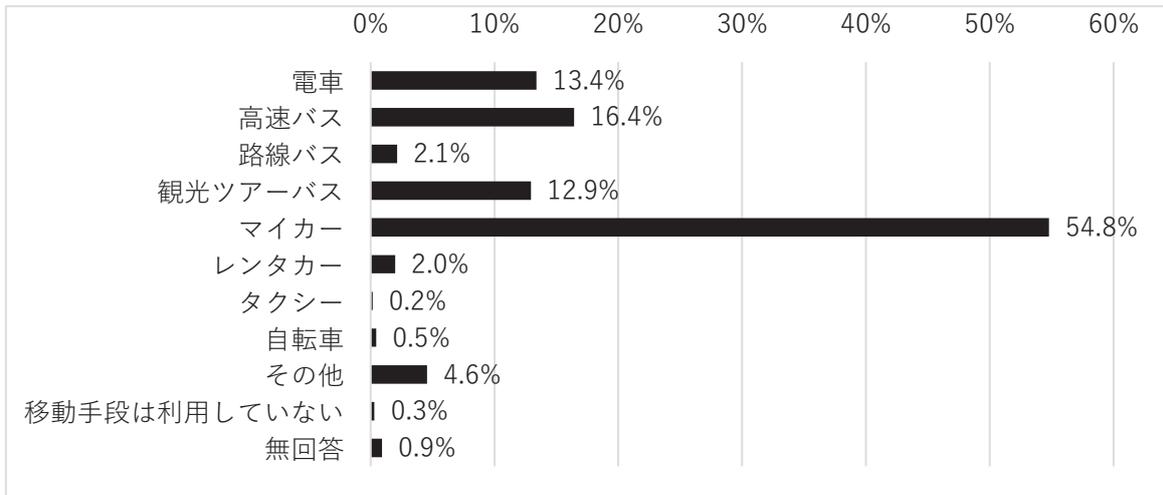


図 14 問 16 移動手段(行き)（単一回答）

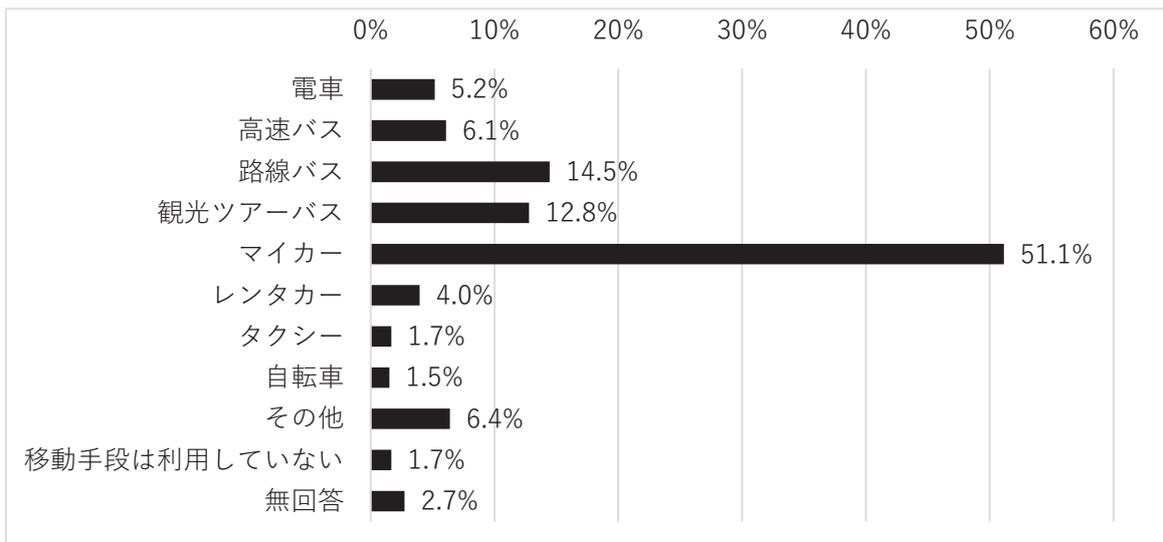


図 15 問 17 移動手段(北麓内)（単一回答）

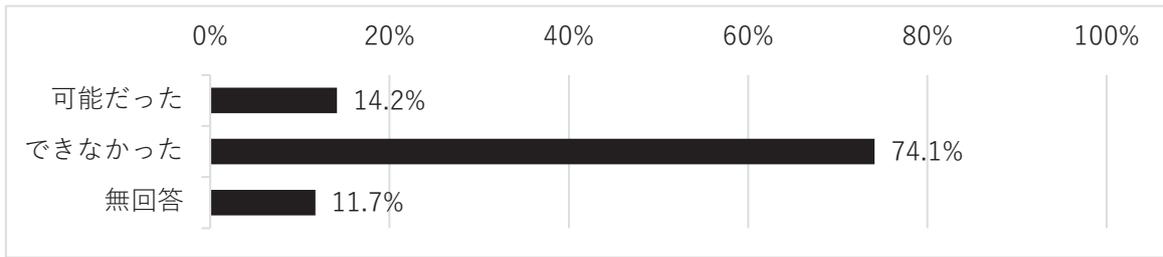


図 16 問 20 日数は増やせたか（単一回答）

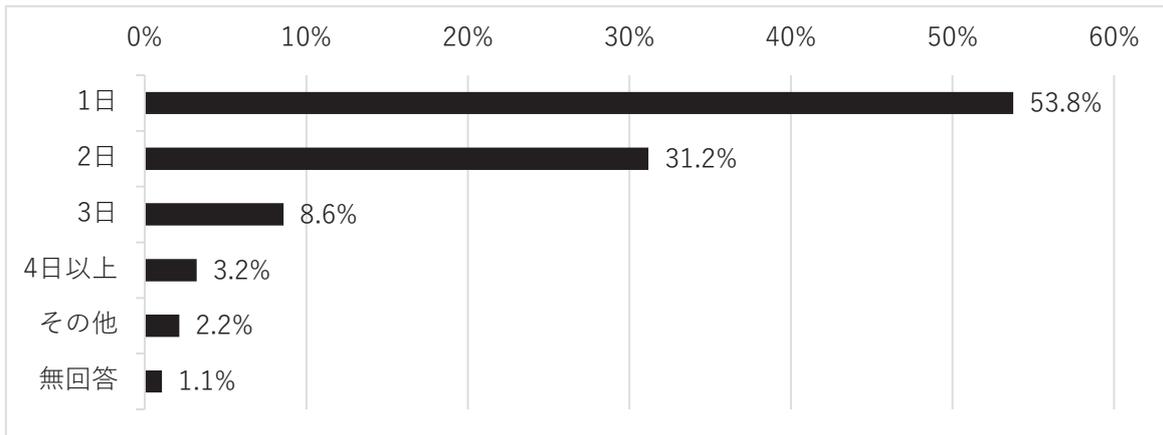


図 17 問 21 何日増やせたか（単一回答）

注：問 20 で「滞在日数を増やすことは可能だった」と回答した 93 人が対象。

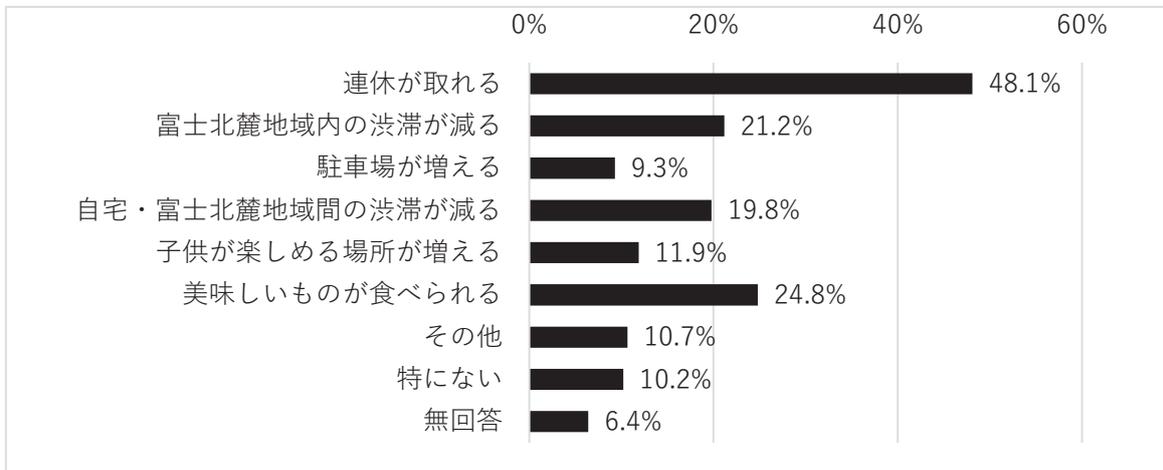


図 18 問 22 どうなれば周遊を増やしたいか（複数回答）

3) 回答者の属性情報

回答者が使用している携帯電話会社はNTTドコモが43.4%と最も多かった(図 19)。性別は男性が53.3%、女性が43.8%であった(図 20)。居住地は東京都が25.0%と最も多く、次いで神奈川県が19.0%と多かった(表 3)。年齢は40歳台が24.2%と最も多かった(図 21)。職業は会社員・公務員が49.2%と最も多かった(図 22)。世帯年収は300万円台が10.4%と最も多かった(図 23)。

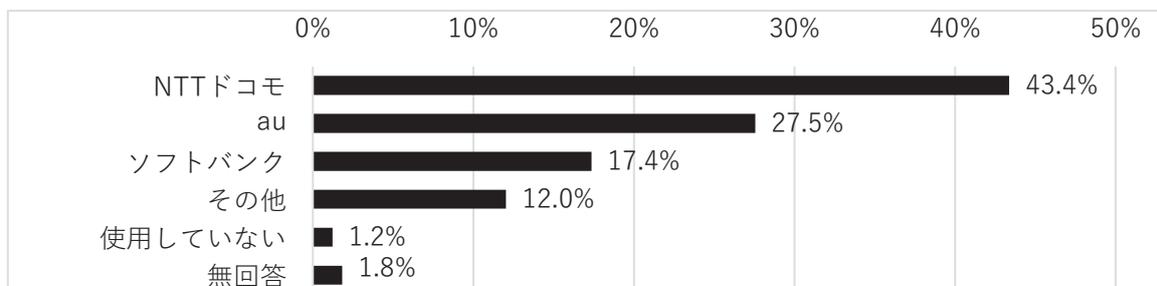


図 19 問 23 携帯電話会社 (複数回答)

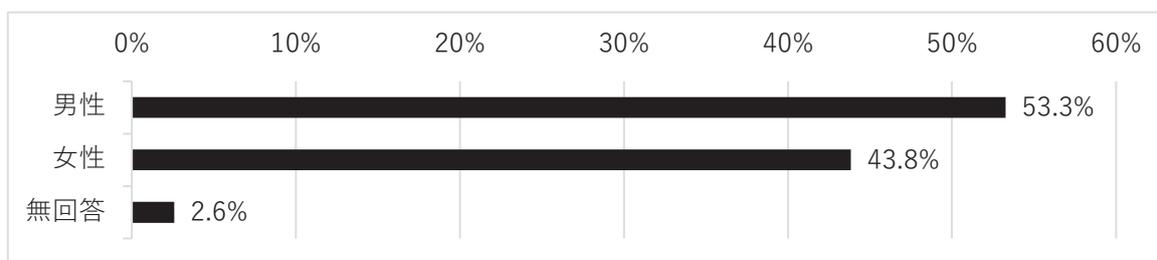


図 20 問 24 性別

表 3 問 24 住まい

都道府県	構成比	都道府県	構成比	都道府県	構成比
北海道	0.3%	石川県	0.3%	岡山県	0.3%
青森県	0.0%	福井県	0.0%	広島県	0.8%
岩手県	0.0%	山梨県	2.9%	山口県	0.2%
宮城県	0.3%	長野県	0.6%	徳島県	0.0%
秋田県	0.0%	岐阜県	0.9%	香川県	0.3%
山形県	0.2%	静岡県	6.1%	愛媛県	0.3%
福島県	0.3%	愛知県	4.4%	高知県	0.0%
茨城県	2.0%	三重県	0.6%	福岡県	0.0%
栃木県	0.9%	滋賀県	0.5%	佐賀県	0.0%
群馬県	1.4%	京都府	0.5%	長崎県	0.2%
埼玉県	8.5%	大阪府	2.3%	熊本県	0.2%
千葉県	5.8%	兵庫県	1.2%	大分県	0.2%
東京都	25.0%	奈良県	0.3%	宮崎県	0.2%
神奈川県	19.0%	和歌山県	0.2%	鹿児島県	0.0%
新潟県	1.1%	鳥取県	0.8%	沖縄県	0.3%
富山県	0.3%	島根県	0.0%	海外	0.2%
				無回答	10.7%
				計	100.00%

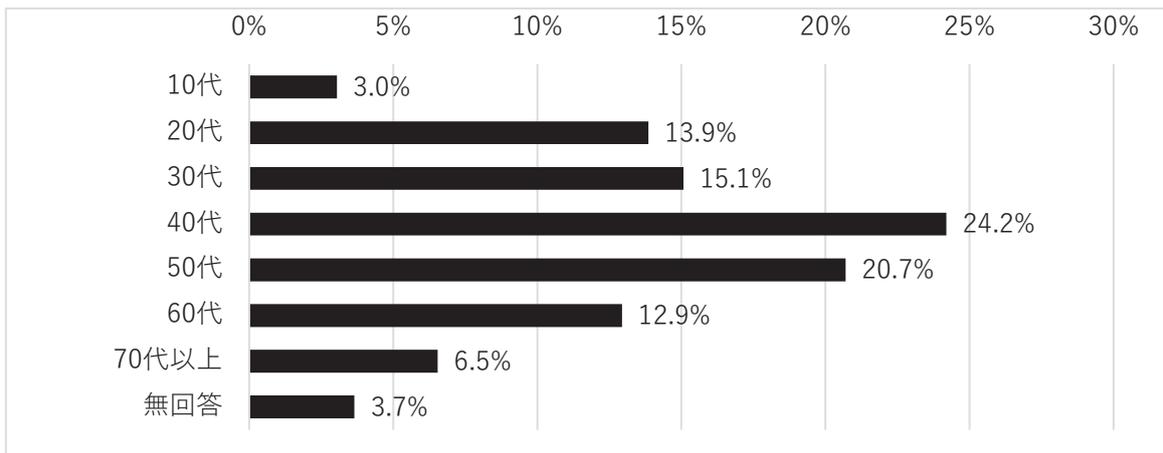


図 21 問 24 年齢

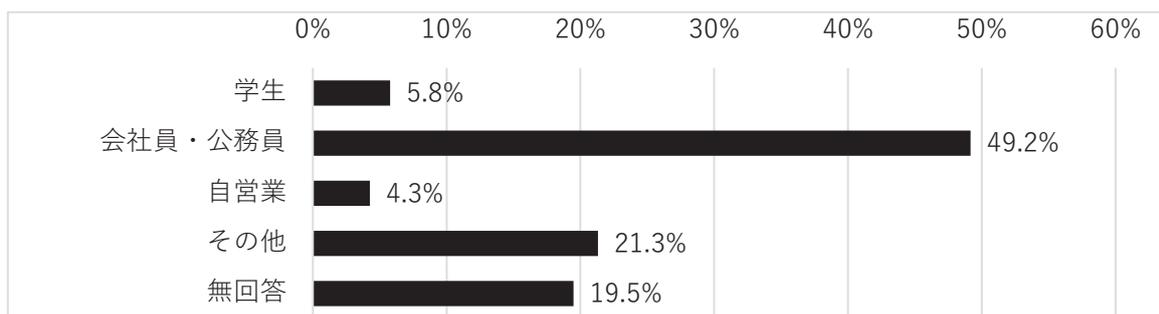


図 22 問 24 職業

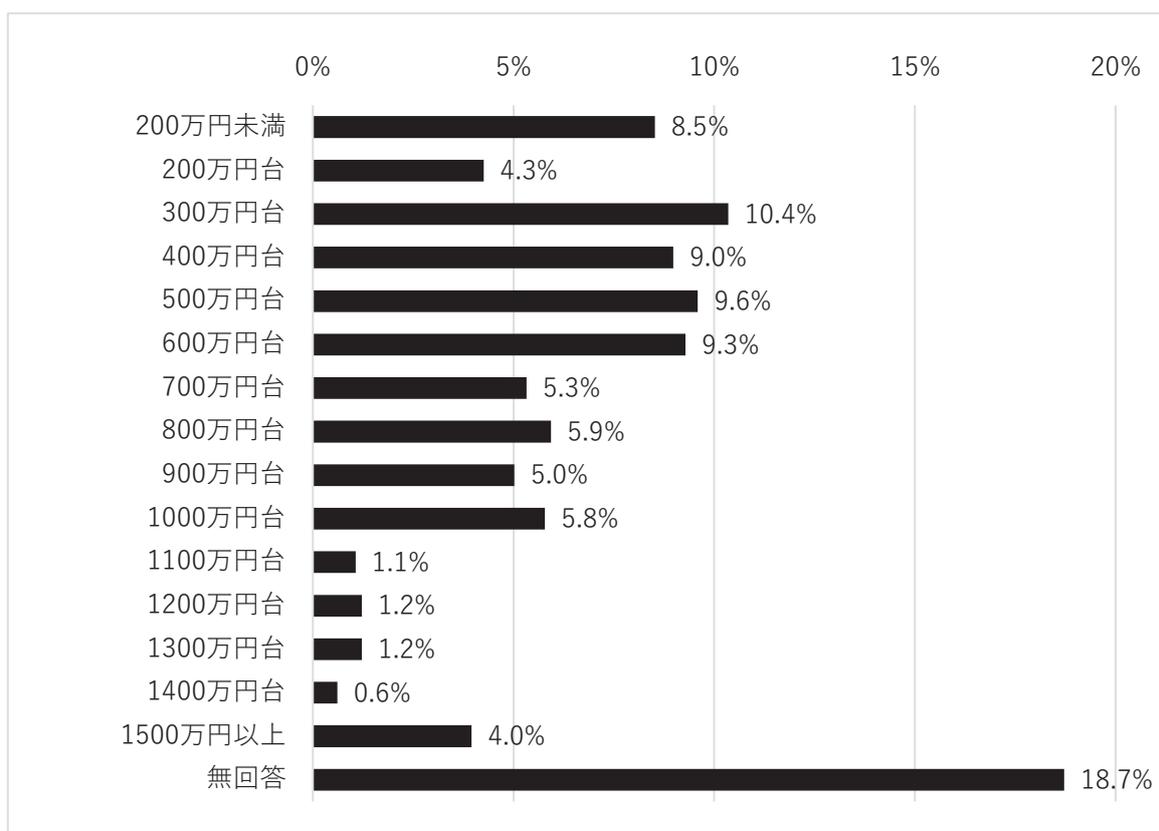


図 23 問 24 年収

II-1-4 訪問市町村数（周遊）に影響を与える要因

訪問市町村数に影響を与える要因を明らかにするために、訪問市町村数（問 10 から問 14。立ち寄った市町村数に応じて 1 市町村～5 市町村とした）を応答変数とする順序ロジットモデルによる分析を行った。説明変数は旅行日数（問 1。日帰りの場合は 1 であり、2 日間の場合は 2 というように旅行日数が数値となる）、子供の有無（問 3。乳幼児、小学生、中学生、高校生を子供に分類し、同行者として子供がいない場合は 0、子供がいる場合は 1）、旅行目的（問 5。「富士登山」「世界遺産」などの目的ごとに、該当しなければ 0、該当すれば 1 となる：15 変数）、自宅からの旅行手段（問 16。「マイカー」「電車」などの手段ごとに、該当しなければ 0、該当すれば 1 となる：10 変数）、所得（問 24。200 万円未満は 1、200 万円台は 2、300 万円台は 3、・・・、1500 万円以上は 15）とした。分析に先立ち、重回帰分析を行い、説明変数間の多重共線性を検出するための指標の一つである分散拡大係数（VIF）を算出した。その結果、いずれの説明変数も VIF は 10 未

満であり、多重共線性はないと考えられた。

また、推定に際しバックワードステップワイズ法を使用した。すなわち、すべての説明変数を用いて分析を行い、すべてのP値が10%水準で有意となるまで、P値が大きい変数から削除した。推定はStata14を用いて行い、コマンドはologitを用いた。

表4は推定結果をまとめたものである。バックワードステップワイズ法により、11の変数が有意となった。P値が10%水準を超える変数を削除したが、結果として有意となった変数は5%水準で有意となった。疑似決定係数は0.10であり、訪問市町村数を必ずしも説明しきれない結果となった。ただし、各変数の傾向を分析することは可能である。

説明変数の係数をみると、旅行日数はプラスとなり、旅行日数が増えると訪問市町村数も増えることが明らかとなった。また、旅行目的が世界遺産以外の名所旧跡、世界遺産、自然名所、グルメなどの観光であったり、家族親睦であったりする場合、係数がプラスであることから訪問市町村数が増える傾向にあることが明らかとなった。一方、ご来光や富士登山の場合は係数がマイナスであることから減る傾向にあることが明らかとなった。さらに、移動手段がツアーバスやマイカーである場合は増える傾向にあることが明らかとなった。一方、子供の有無や所得は係数が有意とはならず、訪問市町村数に影響しないことが明らかとなった。

表4 推定結果

変数	偏回帰係数	z値	95% 信頼区間	
旅行日数	0.40	5.32 **	0.25	0.54
目的_ご来光	-0.99	-3.69 **	-1.51	-0.46
目的_富士登山	-0.55	-2.49 *	-0.98	-0.12
目的_世界遺産	0.77	2.70 *	0.21	1.34
目的_名所旧跡	0.97	2.11 *	0.07	1.86
目的_自然名所	0.60	3.25 **	0.24	0.97
目的_グルメ	0.56	2.61 *	0.14	0.98
目的_家族親睦	0.80	4.26 **	0.43	1.16
目的_特にない	-3.44	-2.18 *	-6.52	-0.35
移動_ツアーバス	0.81	3.23 **	0.32	1.31
移動_マイカー	0.64	3.53 **	0.29	1.00
対数尤度	-774.63			
疑似決定係数	0.10			

注：**、*はそれぞれ1%、5%で有意であることを意味する。

II-1-5 現地アンケート調査結果のまとめ

集計の結果から、富士北麓地域での旅行は家族旅行が多いことが明らかとなった。分析の結果からは、家族親睦を目的としていると訪問市町村数が多いことが明らかとなった。家族旅行は周遊に効果的であり、周遊促進において今後も観光関係者が確実に集客すべき旅行形態であると考えられた。

一方、世界遺産や名所旧跡巡りを目的とした人はアンケートでは少数であった。しかし、分析の結果、周遊には効果的であったことから、今後はこれらの旅行形態を増やすための対策が重要であると考えられた。

II-2 Web 調査

II-2-1 目的

人々が観光を計画する際に考慮する事項は、旅行目的（例：家族親睦、グルメ、ドライブ）、訪問地（例：山中湖、富士急ハイランド、富士吉田市周辺）、移動手段（自動車、観光バス、公共交通機関）、所要時間、交通費などである。富士北麓地域を観光する際に、人々がどの事項をどれくらい重視するのかを明らかにするために、Web アンケートを用いた選択型実験を行う。

II-2-2 方法

選択型実験は複数の代替案を回答者に提示し、最も望ましい代替案を選択させ、代替案に対する評価を明らかにする方法である。本研究では観光を計画する際に考慮する事項を仮想的に組合せて旅行計画を作成し、複数の旅行計画の中から1つの旅行計画を選ばせる。その後、提示する観光コースを変えて、再び最も好ましいもの1つを選択させることを繰り返した。現実には旅行は様々な事項（属性）と内容（水準）が考慮されるが、組合せを多くすると有効な回答が得られにくくなることが知られている。本研究で仮想的に組み合わせる事項は旅行目的、訪問場所、移動手段、北麓地域内での交通費の4項目（表5）とし、表5に基づいて仮想的な旅行計画（プロファイル）を作成した。

仮想的な観光コース（プロファイル）は Ngene Ver. 1.1.2 を用いて D 効率性 (Huber and Zwerina, 1996) を考慮して作成した。プロファイルは 12 個作成し、この中から重複なく 2 個を選ぶとともに、「この中からは選ばない」選択肢 1 個を含めた計 3 個による質問セットを 6 セット作成した。さらに、6 セットを 2 ブロックに分割し、回答者 1 名あたり 1 ブロック (3 セット) を回答させた (図 24)。また、選択型実験に先立ち、世界遺産の情報を提供するグループ (以下、A グループ) と、しないグループ (以下、B グループ) に回答者をランダムに分けた。A グループに提供した情報は、世界文化遺産富士山は 25 の構成資産から成り立っている、という内容である。A グループは情報提供のあとに選択型実験を行った。選択型実験で提示する観光コースはグループとは関係なく提示した。A グループと B グループで回答結果が異なれば、情報提供が影響したと考えることができる。どちらのブロックを回答させるかはランダムに決定し、提示情報もランダムに提示した。

選択型実験の回答結果はランダム効用理論に基づく条件付きロジットモデル (McFadden, 1974) を用い、次式で定式化する。

$$U_j = V_j(x_j, s_j) + \varepsilon_j \quad (1)$$

ただし U_j は旅行コース j を選択したときの効用、 V_j は効用のうち観察可能な確定項、 ε_j は観察不可能な確率項、 x_j は旅行コース j の属性ベクトル、 s_j は旅行コース j の交通費とする。旅行コースの集合 $C (= 1, 2, \dots, m)$ の中から回答者が旅行コース j を選択する確率 P_j は、旅行コース j を選んだときの効用 U_j がその他の旅行コース k を選んだときの効用 U_k を上回る確率なので、次式の通りになる。

$$\begin{aligned} P_j &= P(U_j > U_k, \quad \forall k \in C) \\ &= P(V_j - V_k > \varepsilon_k - \varepsilon_j, \quad \forall k \in C) \end{aligned} \quad (2)$$

McFadden (1974) によると、(2) 式の誤差項が第一種極値分布 (Gumbel 分布) に従うと仮定すると、確率 P_j は以下のように表される。

$$P_j = \frac{\exp(\lambda V_j)}{\sum_k \exp(\lambda V_k)} \quad (3)$$

ただし λ はスケールパラメータであり、通常は 1 に標準化される。パラメータの推定は (3) 式を用いて最

尤法により行う。

条件付きロジットモデルでは、旅行コースの属性 x_i が1単位増加した時の限界支払意志額(MWTP)を求めることができる。効用関数に次のような主効果モデルを考える。

$$V(x, s) = \sum_i \beta_i x_i + \beta_s s \quad (4)$$

β は(3)式から最尤法で推定したパラメータである。ここで(4)式を全微分すると、

$$\sum_i \frac{\partial V}{\partial x_i} dx_i + \frac{\partial V}{\partial s} ds = dV \quad (5)$$

となる。ここで、効用水準を初期水準に固定し($dV = 0$)、属性 x_1 以外の属性も初期水準に固定($dx_i = 0, i \neq 1$)すると仮定する。この時、属性 x_1 が1単位増加した時の限界支払意志額は

$$MWTP_{x_1} = \left. \frac{ds}{dx_1} \right|_{dV=0} = - \frac{\frac{\partial V}{\partial x_1}}{\frac{\partial V}{\partial s}} = - \frac{\beta_1}{\beta_s} \quad (6)$$

によって得られる。

表6は推定に使用する説明変数の一覧である。交通費以外は該当すれば1、そうでなければ0とするダミー変数を設定した。場所については山中湖村、忍野村、富士吉田市、富士河口湖町、鳴沢村の5市町村について「5市町村」というダミー変数を設定し、富士河口湖町・富士吉田市の2市町については設定しなかった。移動手段については、ツアーバスおよび路線バスについて、それぞれダミー変数を設定し、自動車には設定しなかった。交通費は連続変数として扱った。情報提供については各変数と情報提供有無の交差項として扱い、情報提供があれば各変数の値を取り、情報提供がなければ0となる変数とした。本研究では「この中からは選ばない」を選択肢3として設定しているが、推定結果を比較しやすくするために、「この中からは選ばない」場合の効用を0とし、3個の目的についてのダミー変数を使用し、選択肢固有定数項は使用しない。

推定は、最初はすべての説明変数を使用し、偏回帰係数のP値が最も大きなものを除外して次の推定を行い、赤池情報統計量(AIC)が最も小さくなるモデルを求める。なお、偏回帰係数の信頼区間は90%とし、MWTPの信頼区間は90%として、Krinsky and Robb(1986)のモンテカルロ・シミュレーションにより推定する。推定にはStataを使用し、偏回帰係数の推定はclogitコマンドを、MWTPの算出はwtpコマンドを使用する。

表5 属性と水準

属性	水準
旅行目的	世界遺産メイン、自然名所メイン、世界遺産・自然名所
訪問場所	2市町、5市町村
移動手段	自動車、ツアーバス、路線バス
交通費	1,000円、2,000円、3,000円、4,000円

表 6 説明変数一覧

変数名	形式	注
交通費	連続変数	
目的_世界遺産	該当すれば1、しなければ0	
目的_自然名所	該当すれば1、しなければ0	3変数のうち、必ず1つだけ1となる
目的_両方	該当すれば1、しなければ0	
場所_5市町村	該当すれば1、しなければ0	
移動_ツアーバス	該当すれば1、しなければ0	2変数が同時に1となることはない
移動_路線バス	該当すれば1、しなければ0	
情報あり×交通費	連続変数	
情報あり×目的_世界遺産	該当すれば1、しなければ0	
情報あり×目的_自然名所	該当すれば1、しなければ0	3変数のうち、必ず1つだけ1となる
情報あり×目的_両方	該当すれば1、しなければ0	
情報あり×場所_5市町村	該当すれば1、しなければ0	
情報あり×ツアーバス	該当すれば1、しなければ0	2変数が同時に1となることはない
情報あり×路線バス	該当すれば1、しなければ0	

質問セット1

質問1

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	
主な旅行目的	世界遺産・自然名所	自然名所メイン	この中からは 選ばない
主な訪問地域	河口湖・富士吉田	河口湖・富士吉田	
域内での移動手段	自動車	ツアーバス	
域内1人あたり交通費	3,000円	2,000円	

質問セット2

質問1

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	
主な旅行目的	世界遺産メイン	世界遺産・自然名所	この中からは 選ばない
主な訪問地域	北麓全般	河口湖・富士吉田	
域内での移動手段	自動車	路線バス	
域内1人あたり交通費	2,000円	2,000円	

質問2

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	
主な旅行目的	世界遺産メイン	自然名所メイン	この中からは 選ばない
主な訪問地域	河口湖・富士吉田	北麓全般	
域内での移動手段	ツアーバス	自動車	
域内1人あたり交通費	2,000円	1,000円	

質問2

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	
主な旅行目的	自然名所メイン	世界遺産メイン	この中からは 選ばない
主な訪問地域	北麓全般	北麓全般	
域内での移動手段	路線バス	路線バス	
域内1人あたり交通費	4,000円	1,000円	

質問3

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	
主な旅行目的	自然名所メイン	世界遺産・自然名所	この中からは 選ばない
主な訪問地域	河口湖・富士吉田	北麓全般	
域内での移動手段	路線バス	ツアーバス	
域内1人あたり交通費	1,000円	4,000円	

質問3

	選択肢1	選択肢2	選択肢3
	コース1	コース2	
主な旅行目的	世界遺産・自然名所	世界遺産メイン	この中からは 選ばない
主な訪問地域	北麓全般	河口湖・富士吉田	
域内での移動手段	ツアーバス	自動車	
域内1人あたり交通費	1,000円	3,000円	

図 24 プロファイルセット

II-2-3 Web アンケート調査実施概要

Web アンケート調査票の配布は株式会社日経リサーチに委託し、同社に登録しているアンケートモニターを対象に実施した。調査期間 2019 年 12 月 13 日から 17 日の 5 日間であり、富士北麓地域の主要な観光客である関東地方在住者（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）の 20～69 歳の男女を対象に配信した。10 歳代および 70 歳代以上の登録者は少数のため除外した。1,049 人から回答を得たが、選択型実験の回答が 3 回とも「この中からは選ばない」を選択した回答者は無効回答として除外し、有効回答は 913 人（有効回答率 87%）とした。推定に使用するため、選択型実験の他に富士北麓地域への訪問歴、回答者の属性情報を質問した（表 7）。

表 7 調査票の構成

番号	項目	主な質問事項
1	富士北麓地域への訪問歴	訪問歴、訪問場所
2	選択型実験	仮想の日帰り観光への意向
3	回答者の属性情報	住所、年齢、職業

II-2-4 単純集計結果

回答者の概要を把握するために、単純集計結果を示す。特に記述のない限り、回答者数は 913 である。単一回答の場合は回答数に対する当該選択肢の構成比を、複数回答の場合は回答対象者数に対する当該選択肢の回答数の回答率をそれぞれ表示している。なお、端数処理のために構成比の計は 100%とはならないことがある。

1) 回答者の属性情報

回答者の性別は男性 50.5%、女性 49.5%であった（図 25）。年齢は 40 歳代が 24.8%と最も多かった（図 26）。居住地は東京都が 39.1%と最も多かった（図 27）。職業は会社員・団体職員が 46.9%と最も多かった（図 28）。世帯年収は 1200 万円以上が 12.1%と最も多かった（図 29）。

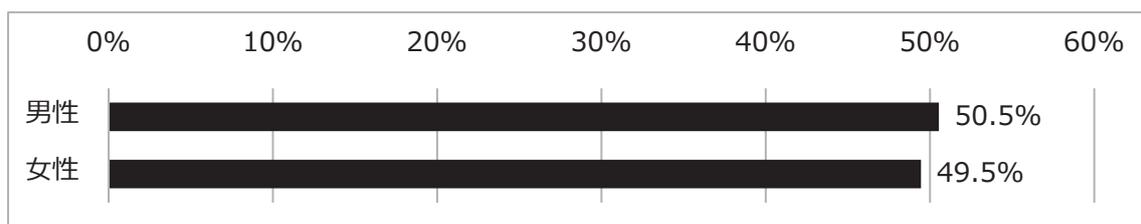


図 25 問 1 性別（単一回答）

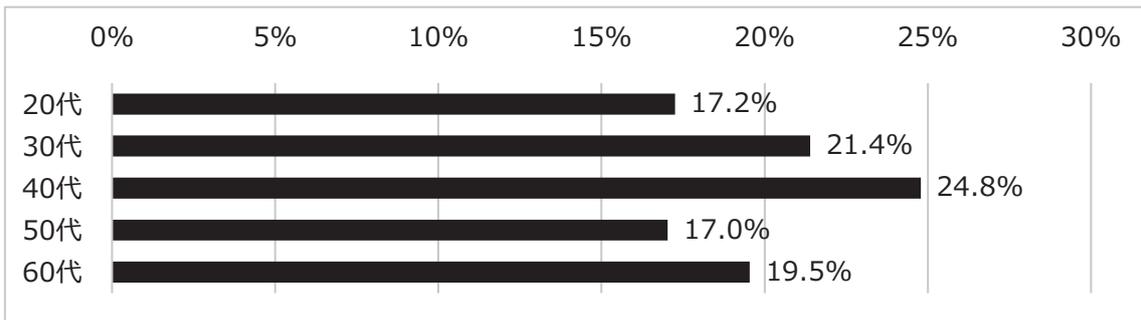


図 26 問 2 年齢 (単一回答)

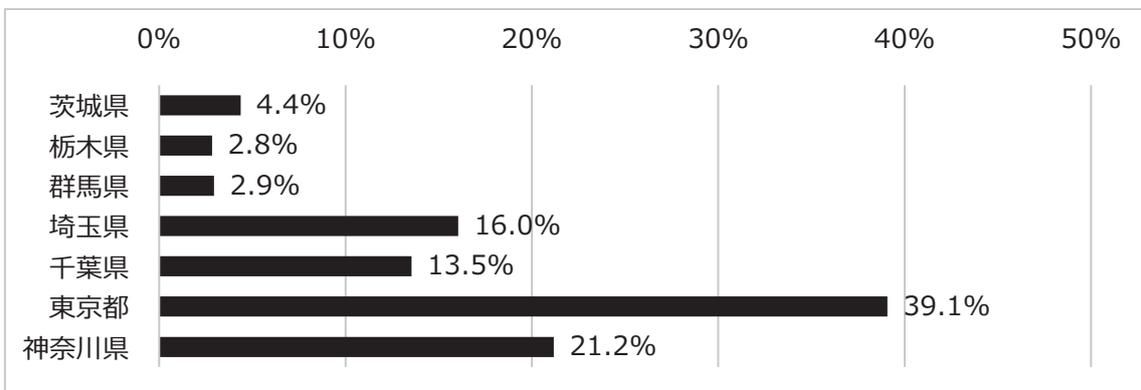


図 27 問 3 居住地 (単一回答)

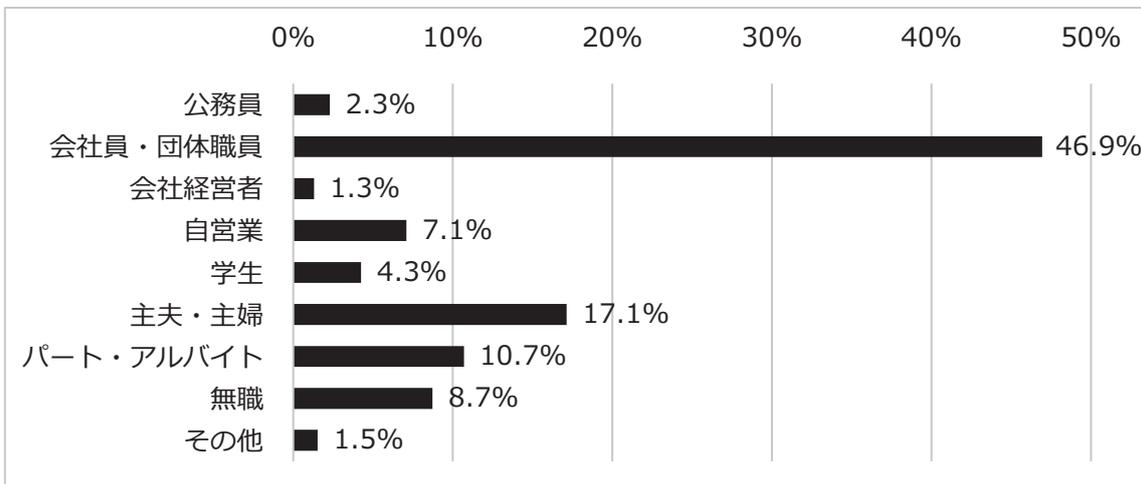


図 28 問 14 職業 (単一回答)

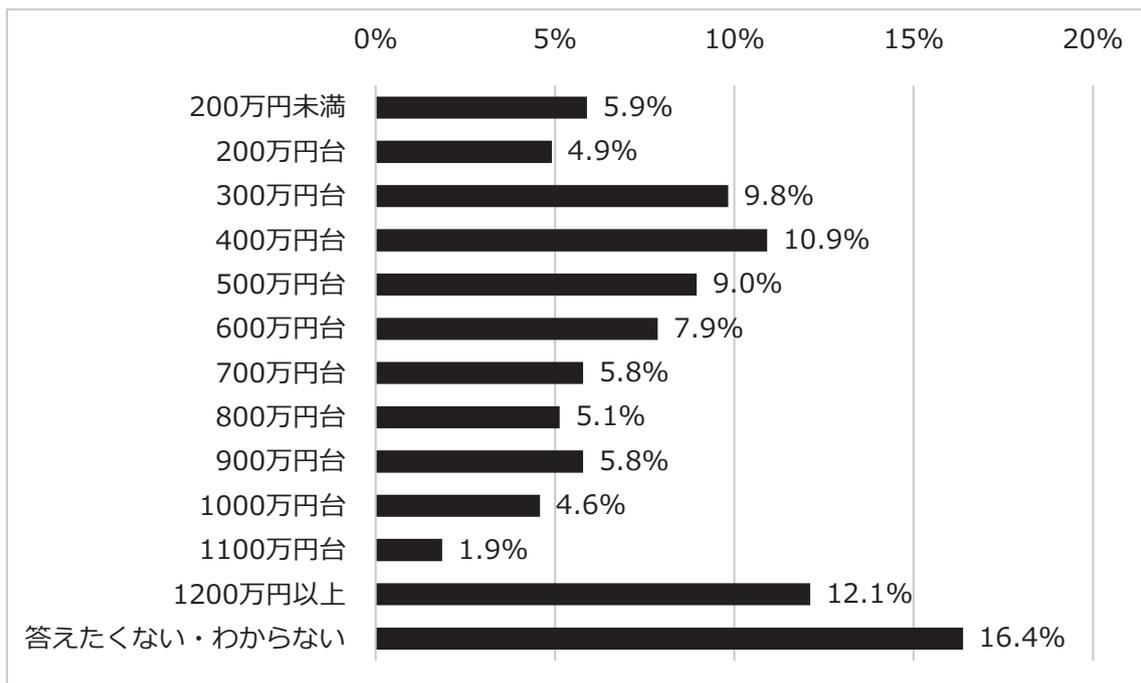


図 29 問 15 世帯年収（単一回答）

2) 富士北麓地域への訪問歴

富士北麓地域への訪問歴は74.8%が「行ったことがある」と回答した（図 30）。「行ったことがある」と回答した人に回数を尋ねたところ、5回以上が32.6%と最も多かった（図 31）。直近の訪問年は2014年以前が51.8%と最も多かった（図 32）。訪れたことがある場所は河口湖が64.4%と最も多く、次いで山中湖が50.5%と多かった（図 33）。富士北麓地域への再訪意欲は、「とても思う」が40.9%、「やや思う」が45.1%であり、これらを足すと86.0%になった（図 34）。

世界文化遺産富士山の知識を問う設問は、回答者を無作為に選び470人に提示した。25の構成資産から成り立っていることを知っていたのは7.7%であり、25もあることは知らなかった人が53.0%であった（図 35）。なお、この設問は選択型実験において、世界文化遺産富士山についての情報提供の影響を計測するために設けたものである。

全員に対し富士北麓地域の主な観光スポットを紹介し、興味のある場所を選ばせたところ、河口湖が55.8%と最も多く、次いで鳴沢氷穴が48.0%と多かった（図 36）。

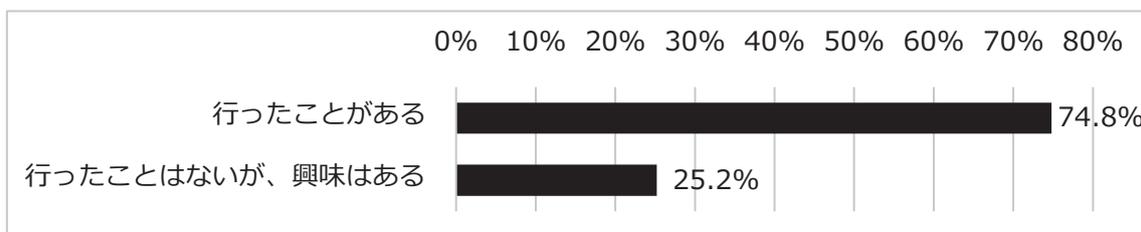


図 30 問 4 富士北麓地域への訪問歴（単一回答）

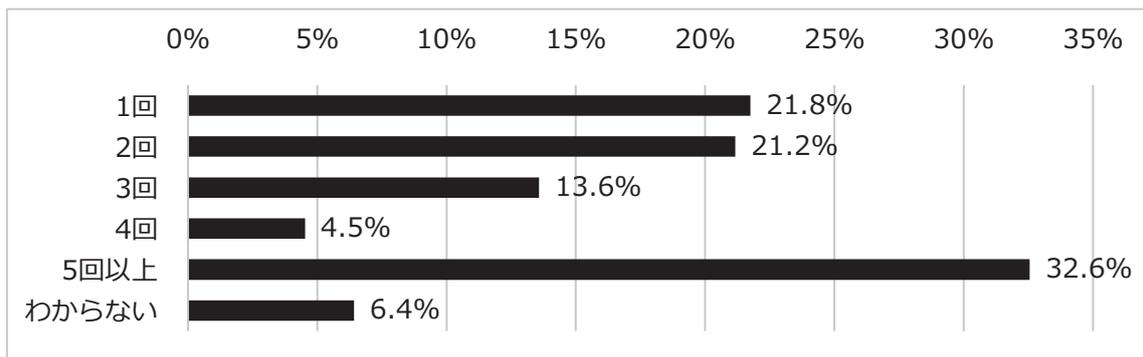


図 31 問 5 富士北麓地域の訪問回数（単一回答）

注：問 4 で「行ったことがある」と回答した 685 人が対象。

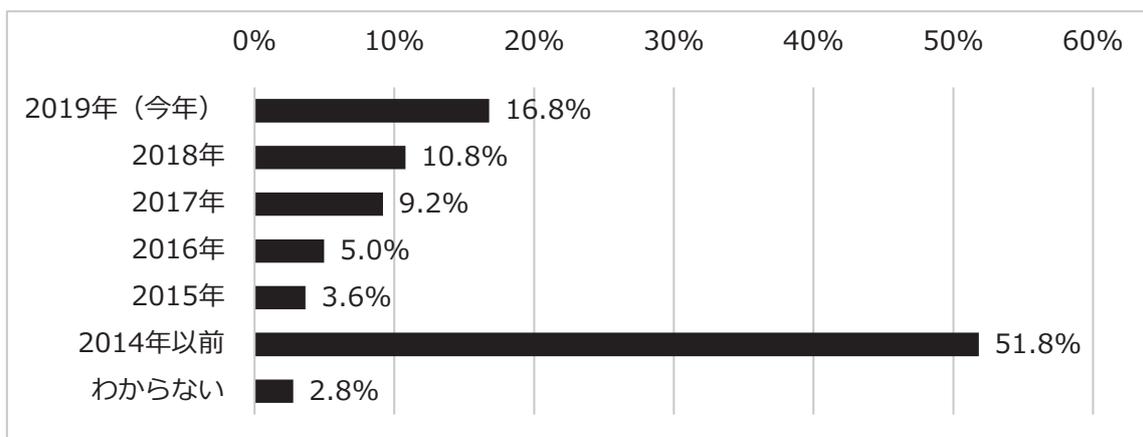


図 32 問 6 富士北麓地域の直近の訪問年（単一回答）

注：問 4 で「行ったことがある」と回答した 685 人が対象。

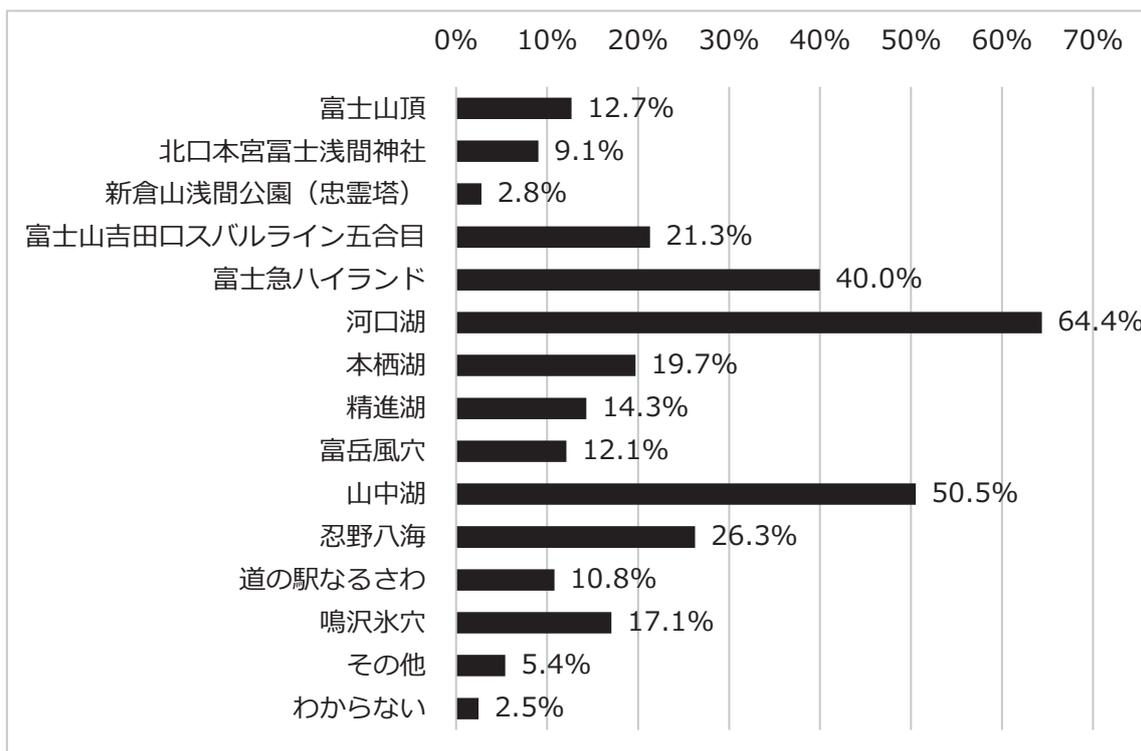


図 33 問 7 富士北麓地域の訪問場所 (複数回答)

注：問 4 で「行ったことがある」と回答した 685 人が対象。

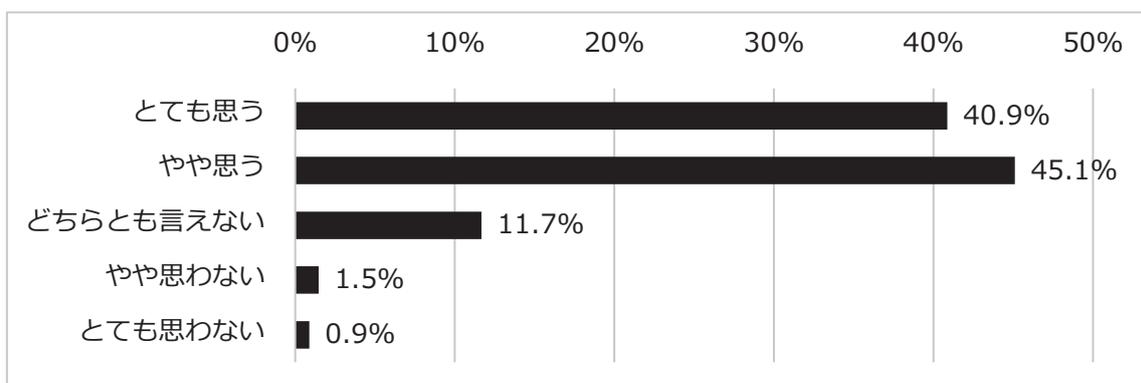


図 34 問 8 富士北麓地域への再訪意欲 (単一回答)

注：問 4 で「行ったことがある」と回答した 685 人が対象。

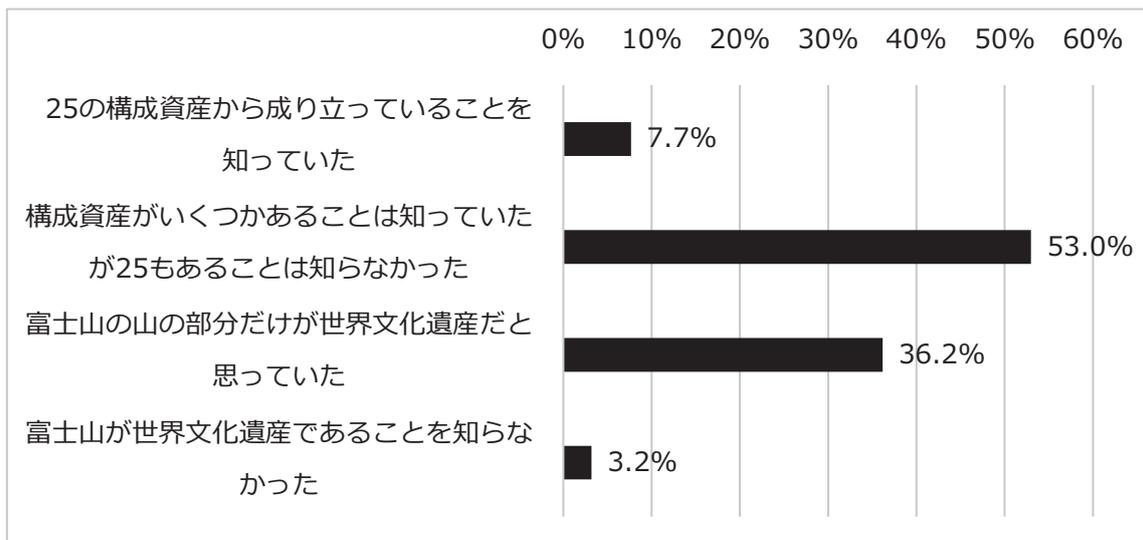


図 35 特問 1 世界文化遺産富士山の知識

注：無作為に選んだ 470 人が対象。

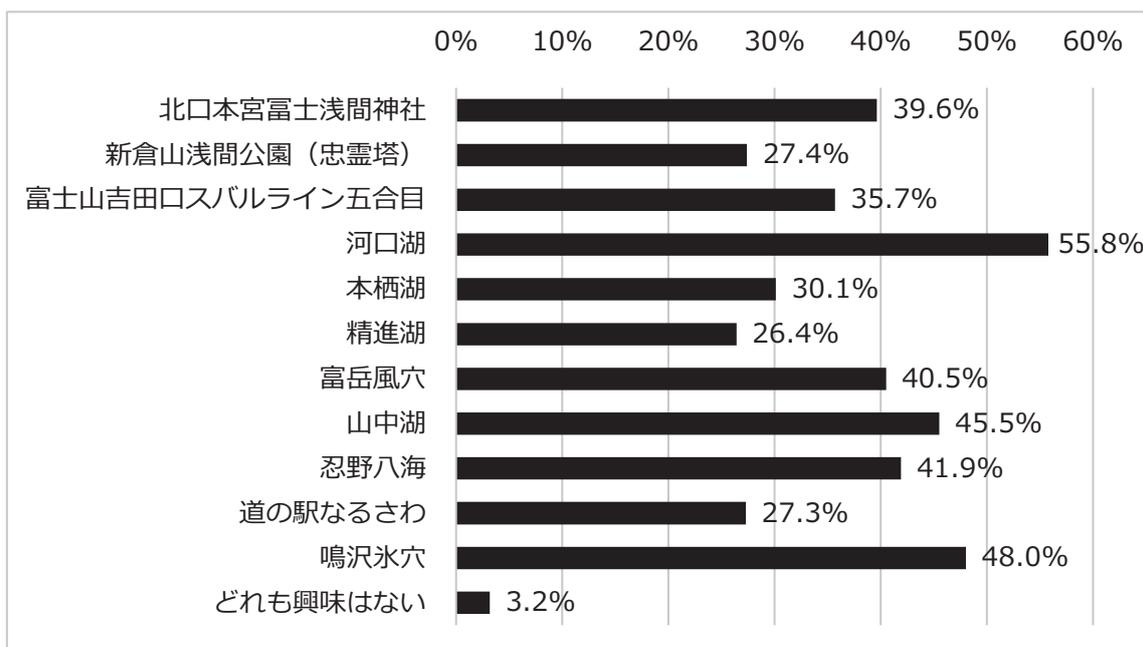


図 36 問 9 興味のある観光スポット（複数回答）

3) 選択型実験の設定

選択型実験では下記条件文を提示するとともに、観光をイメージしやすくするために回答者に同行者、動向人数、移動手段を選ばせ、仮想的な状況下で富士北麓地域の日帰り観光コースを選択させた。

これから秋の富士北麓地域の日帰り観光コースをいくつか示しますので、それらを比べて、あなたが最も好ましいと思うものを選んでいただきます。用事などがあり実際には旅行ができない方も、旅行することを想像して選んで下さい。

同行者は家族が 59.8%と最も多かった（図 37）。自分も含めた同行人数は、大人は 2 人が 58.0%と最も多く（図 38）、子供は 0 人が 74.9%と最も多かった（図 39）。移動手段は自家用車が 55.2%と最も多かった（図 40）。

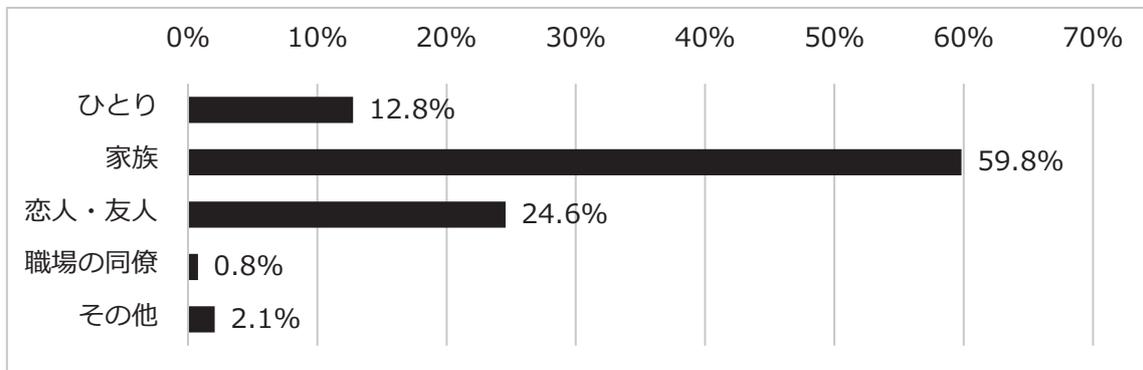


図 37 問 10 同行者（単一回答）

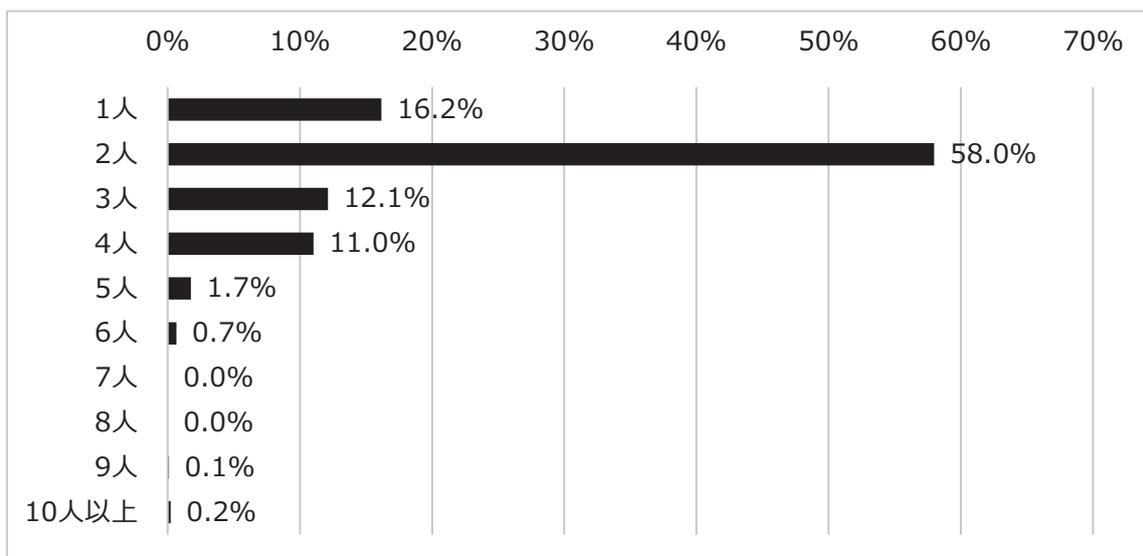


図 38 問 11 同行人数（大人）（単一回答）

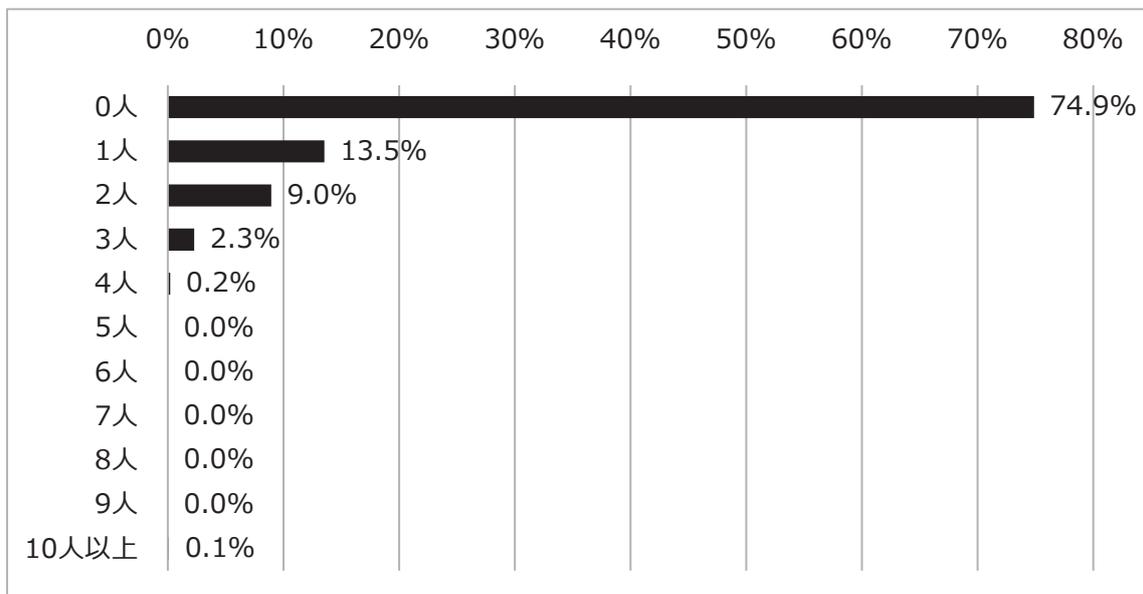


図 39 問 11 同行人数 (子供) (単一回答)

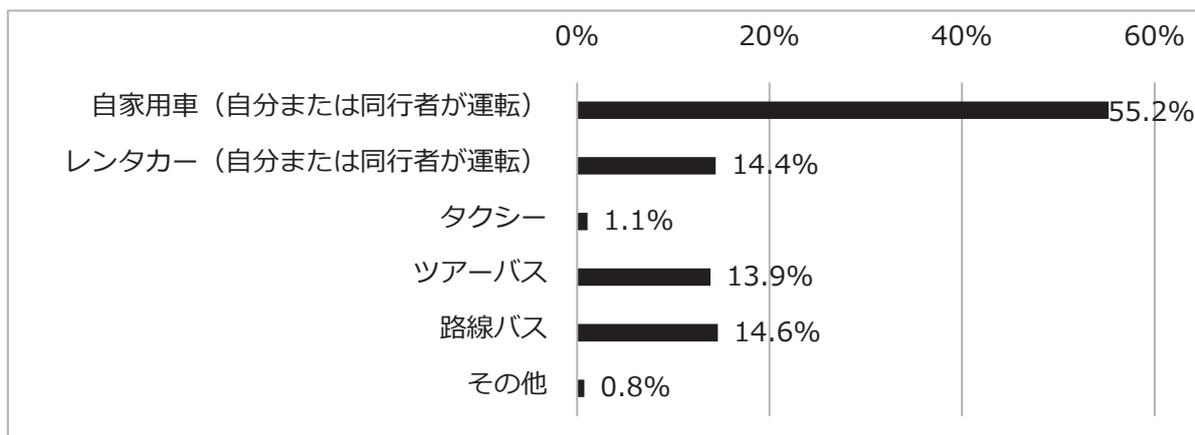


図 40 問 12 移動手段 (単一回答)

II-2-5 選択型実験の推定結果

表 8 は AIC 最小モデルの結果を示したものである (AIC=5102)。交通費、目的、場所、移動手段の各変数は 10%水準で有意となった。偏回帰係数の大きさを見ると、5 市町村は負となったことから、2 市町と比べて選択されにくいといえる。移動手段はツアーバス、路線バス共に負となったことから、自動車と比べて選択されにくいといえる。情報提供との交差項は、目的の 3 変数はいずれも正で有意となったことから、情報提供が行われることで、いずれの目的であっても選択されやすくなったと言える。場所は負で有意となったことから、情報提供が行われることで 5 市町村はより選択されにくくなったといえる。移動手段の 2 変数および交通費は有意にならなかったことから、情報提供の影響はないといえる。

MWTP の平均の大きさを見ると、目的では世界遺産と自然名所の「両方」が 10,177 円、世界遺産が 9,066 円、自然名所が 8,758 円となり、「両方」の価値が最も高くなった。これは世界遺産と自然名所の「両方」に行くために支払っても良い金額の平均が 10,177 円であるということの意味する。しかし、90%信頼区間の上

限と下限を見ると、「両方」であれば 8,902 円となる可能性もあり、自然名所も 9,945 円となる可能性もあり、必ずしも「両方」が「世界遺産」や「自然名所」よりも価値が高いとは言えない結果となった。場所の MWTP は負であるが、これは 2 市町に行く価値よりも、5 市町村に行く価値が平均で 1,360 円低いということの意味する。同様に、移動手段は、自動車を使う価値よりもツアーバスを使う価値は平均で 435 円低く、路線バスは平均で 3,900 円低いということの意味する。これらを総合すると、例えば目的は世界遺産で、場所は 2 市町、移動手段はツアーバスのコースの価値の平均は 9,066 円+0 円-435 円=8,631 円となる。

情報提供により各目的も MWTP が正、つまり各目的の価値が高くなった。例えば [目的：世界遺産、場所：2 市町、移動：ツアーバス] のコースの価値の平均は、情報提供により 8,631 円+1,674 円=10,305 円となる。このコースに関して、情報提供を受けた人は受けていない人よりもこのコースを選択しやすくなるといえる。[目的：世界遺産、場所：5 市町村、移動：自動車] のコースに注目すると、情報提供なしの場合は 7,706 円だが、情報提供があることで価値が 8,732 円となる。情報提供があることで、他のコース（例えば [目的：自然名所、場所：2 市町、移動：自動車]）の価値も高くなることから、全体的に観光客が増える可能性がある。この結果、2 市町のみならず、5 市町村を選択する（周遊する）観光客も増加すると考えられる。ただし、5 市町村を周遊する観光客がどの程度増えるのかを明らかにするためには、実際に要する交通費の金額などを用いてシミュレーションする必要がある。

II-2-6 移動手段

富士北麓地域内の移動手段としては、自動車、ツアーバス、路線バスの中では自動車が好まれていた。地域内での渋滞解消のため、自動車で代わってツアーバスで観光客が移動するようにするためには、例えばツアーバスを利用すると地域で使用できるクーポン券を獲得できたり、地域内に入るためのロードプライシング（入域料金）を実施するなどして、ツアーバスを利用する方が金銭的に得になるようにする事が考えられる。自動車使用時の交通費をガソリン代+駐車料金と考えると、この金額よりもツアーバスの利用料金（交通費のみ）が 435 円安くなると、自動車とツアーバスの利用確率がそれぞれ 50%になる。例えば地域内で 1 人で自動車を使用した時の交通費を 1,000 円と仮定すると、ツアーバス利用料金が 565 円であれば、自動車とツアーバスの利用確率がそれぞれ 50%になる。またはツアーバス利用料金（仮に 1,500 円とする）より 435 円高い金額のクーポン券（1,935 円）を配布することで、自動車とツアーバスの利用確率が半々になる。ただし、複数人で自動車に乗ったとしても駐車料金は変わらないことではなく、ガソリン代もほとんど変わらない。このため、1 人あたりの交通費は 2 人の場合は 500 円、3 人の場合は 333 円となる。無料でツアーバスを利用できたとしても自動車利用と変わらない、または自動車利用の方が優位となると考えられる。

ロードプライシングについても同様に考えることができ、ロードプライシングを 1000 円と仮定すると、地域内での自動車使用時の交通費は、ガソリン代等 1000 円+ロードプライシング 1000 円=2000 円となる。これも複数人で乗った場合はガソリン代もほとんど変わらないため、2 人の場合は 1000 円、3 人の場合は 666 円となる。ツアーバス料金が 2 人の場合は 565 円/人、3 人の場合は 231 円/人であれば、自動車とツアーバスの利用確率がそれぞれ 50%になる。ただし、自動車からツアーバスへ移行が進んだとしても自動車利用時の交通費が高くなるため、当地域へ来る観光客数が減少する可能性がある。このため、富士北麓地域内では自動車利用の経済的優位性は変わらないと考えられる。

II-2-7 Web アンケート調査のまとめ

Web 調査では世界遺産についての情報を提供することで、周遊する観光客が増えるかどうかを検証した。その結果、富士北麓地域全体で観光客が増えると考えられた。また、富士吉田市と富士河口湖町の 2 市町と、山中湖村、忍野村、鳴沢村を加えた 5 市町村を比較すると、情報提供により 2 市町の方が観光客の増加は大きいと考えられた。しかし、5 市町村への観光客も増加すると考えられたことから、5 市町村への周遊が増え

ると考えられた。さらに、富士北麓地域内の移動手段としては自動車が好まれているが、ツアーバスと路線バスを比較すると、ツアーバスの方が好まれることが明らかとなった。

表 8 推定結果

変数	偏回帰係数			限界支払意志額 (円)		
	平均	下限	上限	平均	下限	上限
交通費	-0.27 ***	-0.31	-0.22			
目的_世界遺産	2.43 ***	2.18	2.67	9,066	7,925	10,207
目的_自然名所	2.35 ***	2.06	2.63	8,758	7,571	9,945
目的_両方	2.73 ***	2.43	3.02	10,177	8,902	11,452
場所_5市町村	-0.36 ***	-0.51	-0.22	-1,360	-1,862	-859
移動_ツアーバス	-0.12 **	-0.21	-0.03	-435	-765	-106
移動_路線バス	-1.04 ***	-1.23	-0.86	-3,900	-4,537	-3,263
情報あり×目的_世界遺産	0.45 ***	0.21	0.69	1,674	732	2,616
情報あり×目的_自然名所	0.49 ***	0.22	0.75	1,811	791	2,832
情報あり×目的_両方	0.37 **	0.1	0.64	1,396	367	2,426
情報あり×場所_5市町村	-0.17 *	-0.34	-0.01	-648	-1,266	-30

注：***、**、*は有意水準1%、5%、10%でそれぞれ有意であることを意味する。

II-2-8 引用文献

1. Krinsky, I., & Robb, A. L. (1986). On approximating the statistical properties of elasticities. *The Review of Economics and Statistics*, 715-719.
2. Huber, J., & Zwerina, K. (1996). The importance of utility balance in efficient choice designs. *Journal of Marketing research*, 33(3), 307-317.
3. McFadden, D. (1974) "Conditional logit analysis of qualitative choice behavior", in Zarembka, P. (eds.) *Frontiers in Econometrics*, New York: Academic Press, 105-142.

付 票

現地アンケート調査票
(現地回収用)

富士北麓地域の観光に関するアンケート

この調査は富士北麓地域の観光をより良いものとするために実施しています。
 全部で4ページの「無記名方式」のアンケートです。ご協力をお願いします。

山梨県 富士山科学研究所

<記入上のお願い>

- 項目の中からあてはまる番号に○をつけるか、必要事項をご記入下さい。
- 次に該当する方がご回答下さい：富士北麓地域以外に在住で当地域内を観光した；富士北麓地域在住で当地域内を観光した；別荘を拠点に観光をした
- 次に該当する方は調査対象外となります：富士北麓地域在住で買い物のためだけに立ち寄った；仕事で立ち寄った；自宅から別荘への途中（またはその逆）である

今回のご旅行についてお聞きます。

問1. 今回の旅行の日数について、ご記入下さい。なお、日帰りの場合は1日とご記入下さい。

_____日

問2. 今回の旅行の同行者について、当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

※添乗員付きの団体ツアーなどにご参加の場合は、申込時のグループをお答え下さい。

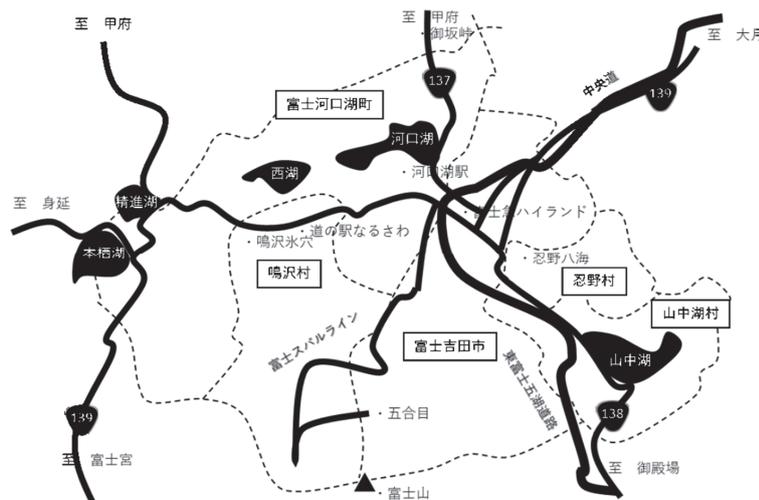
1. 家族・親族との旅行 2. 友人・カップルとの旅行 3. 職場や地域、サークルなどの団体旅行
 4. 一人旅 5. その他（_____）

問3. 今回の旅行の同行者数(ご自身も含めて)について、それぞれご記入下さい。

乳幼児（小学校入学前）_____人 小学生 _____人 中学生 _____人
 高校生 _____人 18歳～64歳 _____人 65歳以上_____人

今回の富士北麓地域のご旅行についてお聞きます。

富士北麓地域とは、山中湖村、忍野村、富士吉田市(富士山含む)、富士河口湖町、鳴沢村の事です。



実線は主要道路、点線は市町村の境界です。

次のページへお進み下さい

問4. 今回の旅行の主な目的地について、当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 富士北麓地域 | 2. 山梨県内の別の地域（具体的に_____） |
| 3. 山梨県以外の地域（具体的に_____） | |

問5. 今回の旅行の主な目的について、当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

- | | | | |
|-----------------|--------------------|---------------------|--------------------|
| 1. ご来光 | 2. 富士登山 | 3. 世界遺産観光 | 4. 世界遺産以外の歴史名所旧跡観光 |
| 5. 自然名所観光 | 6. レジャー施設 | 7. ホテル・民宿などの宿泊施設の利用 | |
| 8. グルメ、食歩歩き | 9. ドライブ | 10. 保養、休養、避暑等 | 11. イベント参加 |
| 12. 家族旅行、家族との親睦 | 13. 友人・知人、恋人との親睦 | 14. 通過点に過ぎない | |
| 15. 特になし | 16. その他（具体的に_____） | | |

問6. どこから富士北麓地域に入りましたか。当てはまる番号ひとつに○をつけて下さい。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 御殿場方面からこの地域へ入った |
| 2. 大月方面から鉄道（富士急）を使ってこの地域へ入った |
| 3. 大月方面から中央自動車または一般道を通ってこの地域に入った |
| 4. 甲府方面から御坂峠を越えてこの地域に入った |
| 5. 甲府方面から精進湖を通ってこの地域に入った |
| 6. 身延方面から本栖湖を通ってこの地域に入った |
| 7. 富士宮方面からこの地域へ入った |
| 8. 地域内に住んでいる、または別荘に滞在している |
| 9. その他（_____） |
| 10. わからない |

問7. 富士北麓地域に入ったのはいつごろですか。

____月____日____時ごろ

問8. 富士北麓地域から帰る際にどこに向かって移動する予定ですか。当てはまる番号ひとつに○をつけて下さい。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 御殿場方面へ移動した |
| 2. 鉄道（富士急）を使って大月方面へ移動した |
| 3. 中央自動車または一般道を通って大月方面へ移動した |
| 4. 御坂峠を越えて甲府方面へ移動した |
| 5. 精進湖を通って甲府方面へ移動した |
| 6. 本栖湖を通って身延方面へ移動した |
| 7. 富士宮方面へ移動した |
| 8. 地域内に住んでいる、または別荘に滞在している |
| 9. その他（_____） |
| 10. わからない |

問9. 富士北麓地域から出るのはいつごろの予定ですか。

____月____日____時ごろ

次のページへお進み下さい

問10. 山中湖村ではどこに立ち寄りましたか(予定含む)。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 山中湖 2. その他 (_____)
3. 通るが立ち寄りらない 4. 通らない 5. わからない

問11. 忍野村ではどこに立ち寄りましたか(予定含む)。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 忍野八海 2. 忍野しのびの里 3. その他 (_____)
4. 通るが立ち寄りらない 5. 通らない 6. わからない

問12. 富士吉田市ではどこに立ち寄りましたか(予定含む)。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 北口本宮富士浅間神社 2. 富士山駅 3. 道の駅富士吉田 4. 富士急ハイランド
5. 新倉山浅間公園(忠霊塔) 6. 富士山五合目 7. 富士山頂 8. その他 (_____)

問13. 富士河口湖町ではどこに立ち寄りましたか(予定含む)。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 河口湖 2. ロープウェイ 3. 道の駅かつやま 4. 河口湖駅 5. 西湖 6. 精進湖
7. 本栖湖 8. 富岳風穴 9. その他 (_____)
10. 通るが立ち寄りらない 11. 通らない 12. わからない

問14. 鳴沢村ではどこに立ち寄りましたか(予定含む)。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 道の駅なるさわ 2. 鳴沢氷穴 3. その他 (_____)
4. 通るが立ち寄りらない 5. 通らない 6. わからない

問15. 立ち寄った場所(予定含む)がどの市町村にあるかわからない場合は、下記にご記入下さい。

--

問16. 自宅(出発地)と富士北麓地域の間での主な移動手段として、当てはまる番号ひとつに○をつけて下さい。

- 1.電車 2.高速バス 3.路線バス 4.観光ツアーバス 5.マイカー 6.レンタカー 7.タクシー
8.自転車 9.その他(具体的に _____) 9.移動手段は利用していない

問17. 富士北麓地域内での主な移動手段として、当てはまる番号ひとつに○をつけて下さい。

- 1.電車 2.高速バス 3.路線バス 4.観光ツアーバス 5.マイカー 6.レンタカー 7.タクシー
8.自転車 9.その他(具体的に _____) 9.移動手段は利用していない

問18. 宿泊地と宿泊日数を教えて下さい(予定も含む)。

場所	山中湖村	忍野村	富士吉田市 富士山山小屋含む	富士河口湖町	鳴沢村	この地域で 宿泊しない
泊数	_____泊	_____泊	_____泊	_____泊	_____泊	

次のページへお進み下さい

問19. 富士北麓地域内でのおよその滞在時間(宿泊時間含む)をお教えて下さい。

場所	山中湖村	忍野村	富士吉田市 富士登山含む	富士河口湖町	鳴沢村	合計
時間	_____時間	_____時間	_____時間	_____時間	_____時間	_____時間

問20. 今回の旅行で富士北麓地域での滞在日数を増やすことは可能だったでしょうか。それとも仕事や家族の都合などで増やすことはできなかったでしょうか。当てはまる番号ひとつ○をつけて下さい。

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 滞在日数を増やすことは可能だった | →問 21 へ |
| 2. 滞在日数を増やすことはできなかった | →問 22 へ |

問21. 滞在日数を増やすことは可能だったと答えた方にうかがいます。何日増やすことが可能だったでしょうか。当てはまる番号ひとつ○をつけて下さい。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|---------------|
| 1. 1日 | 2. 2日 | 3. 3日 | 4. 4日以上 | 5. その他(_____) |
|-------|-------|-------|---------|---------------|

問22. 山梨県では富士北麓地域内の周遊の促進を図っています。どのような条件が整えば、今回の旅行または今後の旅行で、あなたは富士北麓地域内の周遊を行いたい(またはより多くの場所を周遊したい)と思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

- | | | |
|-------------------------|------------------|------------|
| 1. 連休が取れる | 2. 富士北麓地域内の渋滞が減る | 3. 駐車場が増える |
| 4. 自宅から富士北麓地域までの間の渋滞が減る | 5. 子供が楽しめる場所が増える | |
| 6. 美味しいものが食べられる | 7. その他(_____) | 8. 特にない |

最後にあなたご自身についてお聞きします。

問23. どちらの会社の携帯電話をお持ちでしょうか。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

- | | | | | |
|-----------|-------|-----------|--------|------------|
| 1. NTTドコモ | 2. au | 3. ソフトバンク | 4. その他 | 5. 使用していない |
|-----------|-------|-----------|--------|------------|

問24. あなた自身についてお聞かせ下さい。

性別	1. 男性	2. 女性	お住まい	_____都道府県	_____市区町村
年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上				
職業	1. 学生 2. 会社員・公務員 3. 自営業 4. その他(_____)				
世帯の年収 (年金も含む)	1. 200万円未満 2. 200万円台 3. 300万円台 4. 400万円台 5. 500万円台 6. 600万円台 7. 700万円台 8. 800万円台 9. 900万円台 10. 1,000万円台 11. 1,100万円台 12. 1,200万円台 13. 1,300万円台 14. 1,400万円台 15. 1,500万円以上				

問25. 最後に何かご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

--

アンケートは以上です。長時間にわたりご協力ありがとうございました。

現地アンケート調査票
(郵送回収用)

富士北麓地域の観光に関するアンケート

この調査は富士北麓地域の観光をより良いものとするために実施しています。
全部で4ページの「無記名方式」のアンケートです。ご協力をお願いします。

山梨県 富士山科学研究所

<記入上のお願い>

- ご帰宅後にご回答ください。
- 項目の中からあてはまる番号に○をつけるか、必要事項をご記入下さい。
- 次に該当する方がご回答下さい：富士北麓地域以外に在住で当地域内を観光した；富士北麓地域に在住で当地域内を観光した；別荘を拠点に観光をした
- 次に該当する方は調査対象外となります：富士北麓地域に在住で買い物のためだけに立ち寄った；仕事で立ち寄った；自宅から別荘への途中（またはその逆）である

今回のご旅行についてお聞きします。

問1. 今回の旅行の日数について、ご記入下さい。なお、日帰りの場合は1日とご記入下さい。

_____日

問2. 今回の旅行の同行者について、当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

※添乗員付きの団体ツアーなどにご参加の場合は、申込時のグループをお答え下さい。

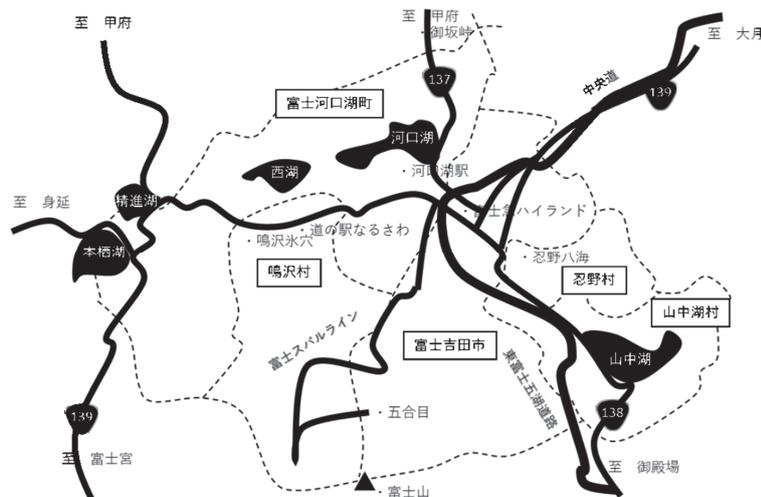
1. 家族・親族との旅行 2. 友人・カップルとの旅行 3. 職場や地域、サークルなどの団体旅行
4. 一人旅 5. その他(_____)

問3. 今回の旅行の同行者数(ご自身も含めて)について、それぞれご記入下さい。

乳幼児(小学校入学前) _____人 小学生 _____人 中学生 _____人
高校生 _____人 18歳~64歳 _____人 65歳以上 _____人

今回の富士北麓地域のご旅行についてお聞きします。

富士北麓地域とは、山中湖村、忍野村、富士吉田市(富士山含む)、富士河口湖町、鳴沢村の事です。



実線は主要道路、点線は市町村の境界です。

次のページへお進み下さい

問4. 今回の旅行の主な目的地について、当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 富士北麓地域 | 2. 山梨県内の別の地域（具体的に_____） |
| 3. 山梨県以外の地域（具体的に_____） | |

問5. 今回の旅行の主な目的について、当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

- | | | | |
|-----------------|--------------------|---------------------|--------------------|
| 1. ご来光 | 2. 富士登山 | 3. 世界遺産観光 | 4. 世界遺産以外の歴史名所旧跡観光 |
| 5. 自然名所観光 | 6. レジャー施設 | 7. ホテル・民宿などの宿泊施設の利用 | |
| 8. グルメ、食べ歩き | 9. ドライブ | 10. 保養、休養、避暑等 | 11. イベント参加 |
| 12. 家族旅行、家族との親睦 | 13. 友人・知人、恋人との親睦 | 14. 通過点に過ぎない | |
| 15. 特になし | 16. その他（具体的に_____） | | |

問6. どこから富士北麓地域に入りましたか。当てはまる番号ひとつに○をつけて下さい。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 御殿場方面からこの地域へ入った |
| 2. 大月方面から鉄道（富士急）を使ってこの地域へ入った |
| 3. 大月方面から中央自動車または一般道を通ってこの地域に入った |
| 4. 甲府方面から御坂峠を越えてこの地域に入った |
| 5. 甲府方面から精進湖を通ってこの地域に入った |
| 6. 身延方面から本栖湖を通ってこの地域に入った |
| 7. 富士宮方面からこの地域へ入った |
| 8. 地域内に住んでいる、または別荘に滞在している |
| 9. その他（_____） |
| 10. わからない |

問7. 富士北麓地域に入ったのはいつごろですか。

_____月_____日_____時ごろ

問8. 富士北麓地域から帰る際にどこに向かって移動しましたか。当てはまる番号ひとつに○をつけて下さい。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 御殿場方面へ移動した |
| 2. 鉄道（富士急）を使って大月方面へ移動した |
| 3. 中央自動車または一般道を通って大月方面へ移動した |
| 4. 御坂峠を越えて甲府方面へ移動した |
| 5. 精進湖を通って甲府方面へ移動した |
| 6. 本栖湖を通って身延方面へ移動した |
| 7. 富士宮方面へ移動した |
| 8. 地域内に住んでいる、または別荘に滞在している |
| 9. その他（_____） |
| 10. わからない |

問9. 富士北麓地域から出たのはいつごろですか。

_____月_____日_____時ごろ

次のページへお進み下さい

問10. 山中湖村ではどこに立ち寄りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 山中湖 2. その他 (_____)
 3. 通ったが立ち寄っていない 4. 通っていない 5. わからない

問11. 忍野村ではどこに立ち寄りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 忍野八海 2. 忍野しのびの里 3. その他 (_____)
 4. 通ったが立ち寄っていない 5. 通っていない 6. わからない

問12. 富士吉田市ではどこに立ち寄りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 北口本宮富士浅間神社 2. 富士山駅 3. 道の駅富士吉田 4. 富士急ハイランド
 5. 新倉山浅間公園(忠霊塔) 6. 富士山五合目 7. 富士山頂 8. その他 (_____)

問13. 富士河口湖町ではどこに立ち寄りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 河口湖 2. ロープウェイ 3. 道の駅かつやま 4. 河口湖駅 5. 西湖 6. 精進湖
 7. 本栖湖 8. 富岳風穴 9. その他 (_____)
 10. 通ったが立ち寄っていない 11. 通っていない 12. わからない

問14. 鳴沢村ではどこに立ち寄りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 道の駅なるさわ 2. 鳴沢氷穴 3. その他 (_____)
 4. 通ったが立ち寄っていない 5. 通っていない 6. わからない

問15. 立ち寄った場所がどの市町村にあるかわからない場合は、下記にご記入下さい。

--

問16. 自宅(出発地)と富士北麓地域との主な移動手段として、当てはまる番号ひとつに○をつけて下さい。

- 1.電車 2.高速バス 3.路線バス 4.観光ツアーバス 5.マイカー 6.レンタカー 7.タクシー
 8.自転車 9.その他(具体的に _____) 9.移動手段は利用していない

問17. 富士北麓地域内での主な移動手段として、当てはまる番号ひとつに○をつけて下さい。

- 1.電車 2.高速バス 3.路線バス 4.観光ツアーバス 5.マイカー 6.レンタカー 7.タクシー
 8.自転車 9.その他(具体的に _____) 9.移動手段は利用していない

問18. 宿泊地と宿泊日数を教えて下さい。

場所	山中湖村	忍野村	富士吉田市 富士山小屋含 む	富士河口湖町	鳴沢村	この地域で 宿泊して いない
泊数	_____泊	_____泊	_____泊	_____泊	_____泊	

次のページへお進み下さい

問19. 富士北麓地域内でののおおよその滞在時間(宿泊時間含む)をお教えて下さい。

場所	山中湖村	忍野村	富士吉田市 富士登山含む	富士河口湖町	鳴沢村	合計
時間	_____時間	_____時間	_____時間	_____時間	_____時間	_____時間

問20. 今回の旅行で富士北麓地域での滞在日数を増やすことは可能だったでしょうか。それとも仕事や家族の都合などで増やすことはできなかったでしょうか。当てはまる番号ひとつ○をつけて下さい。

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 滞在日数を増やすことは可能だった | →問 21 へ |
| 2. 滞在日数を増やすことはできなかった | →問 22 へ |

問21. 滞在日数を増やすことは可能だったと答えた方にうかがいます。何日増やすことが可能だったでしょうか。当てはまる番号ひとつ○をつけて下さい。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|---------------|
| 1. 1日 | 2. 2日 | 3. 3日 | 4. 4日以上 | 5. その他(_____) |
|-------|-------|-------|---------|---------------|

問22. 山梨県では富士北麓地域内の周遊の促進を図っています。どのような条件が整えば、今回の旅行または今後の旅行で、あなたは富士北麓地域内の周遊を行いたい(またはより多くの場所を周遊したい)と思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

- | | | |
|-------------------------|------------------|------------|
| 1. 連休が取れる | 2. 富士北麓地域内の渋滞が減る | 3. 駐車場が増える |
| 4. 自宅から富士北麓地域までの間の渋滞が減る | 5. 子供が楽しめる場所が増える | |
| 6. 美味しいものが食べられる | 7. その他(_____) | 8. 特にない |

最後にあなたご自身についてお聞きします。

問23. どちらの会社の携帯電話をお持ちでしょうか。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

- | | | | | |
|-----------|-------|-----------|--------|------------|
| 1. NTTドコモ | 2. au | 3. ソフトバンク | 4. その他 | 5. 使用していない |
|-----------|-------|-----------|--------|------------|

問24. あなた自身についてお聞かせ下さい。

性別	1. 男性	2. 女性	お住まい	_____都道府県	_____市区町村										
年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上								
職業	1. 学生 2. 会社員・公務員 3. 自営業 4. その他(_____)														
世帯の年収 (年金も含む)	1. 200万円未満	2. 200万円台	3. 300万円台	4. 400万円台	5. 500万円台	6. 600万円台	7. 700万円台	8. 800万円台	9. 900万円台	10. 1,000万円台	11. 1,100万円台	12. 1,200万円台	13. 1,300万円台	14. 1,400万円台	15. 1,500万円以上

問25. 最後に何かご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

--

アンケートは以上です。長時間にわたりご協力ありがとうございました。

現地アンケート調査票
(Web 回収用)



富士北麓地域の観光に関するアンケート

この調査は富士北麓地域の観光をより良くするために山梨県富士山科学研究所が実施しています。

当てはまるものが選択肢にない場合は「その他」にご記入ください。

回答はお一人一回でお願いします。

回答は匿名で集計されます。

***必須**

今回のご旅行についてお聞きします。

問1 今回の旅行の日数を1つ選んでください。なお、日帰りの場合は1日を選んでください。*

1日

2日

3日

4日

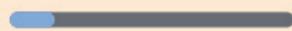
5日

その他: _____



問2 今回の旅行の同行者について、当てはまるものすべてを選んでください。
(添乗員付きの団体ツアーなどにご参加の場合は、申込時のグループをお答えください) *

- 家族・親族との旅行
- 友人・カップルとの旅行
- 職場や地域、サークルなどの団体旅行
- 一人旅
- その他: _____

 1/6 ページ

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



富士北麓地域の観光に関するアンケート

*必須

今回の旅行の同行者数（ご自身も含めて）を教えてください。

問3-1 乳幼児（小学校入学前）は何人でしたか。*

0人

1人

2人

3人

4人

その他: _____

問3-2 小学生は何人でしたか。*

0人

1人

2人

3人

4人

その他: _____



問3-3 中学生は何人でしたか。*

0人

1人

2人

3人

4人

その他: _____

問3-4 高校生は何人でしたか。*

0人

1人

2人

3人

4人

その他: _____



問3-5 18～64歳は何人でしたか。 *

0人

1人

2人

3人

4人

その他: _____

問3-5 65歳以上は何人でしたか。 *

0人

1人

2人

3人

4人

その他: _____

 2/6 ページ

戻る

次へ

 Google フォームでパスワードを送信しないでください。



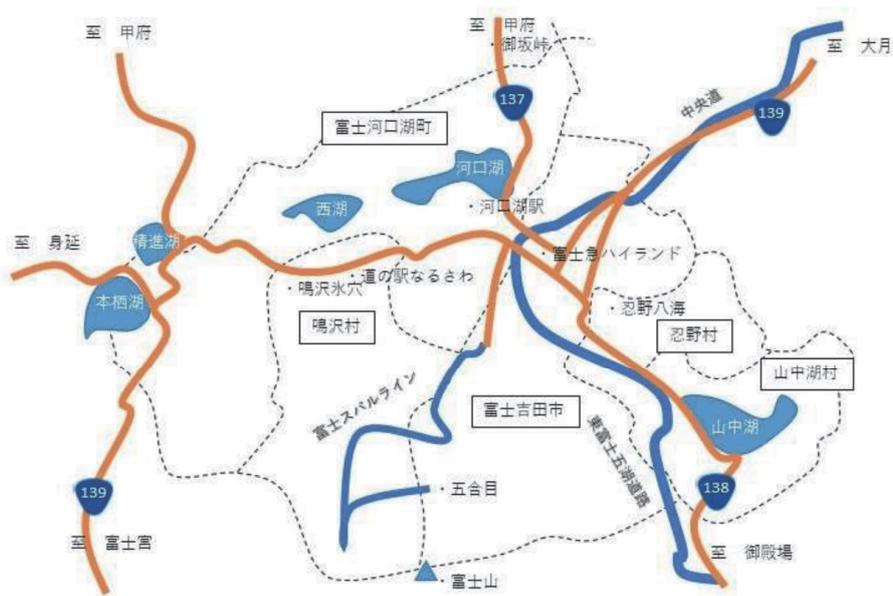


富士北麓地域の観光に関するアンケート

*必須

今回の富士北麓地域のご旅行についてお聞きます

富士北麓地域とは、山中湖村、忍野村、富士吉田市（富士山含む）、富士河口湖町、鳴沢村のことで、（地図中の実線は主要道路、点線は市町村の境界です。）



問4 今回の旅行の主な目的地について、当てはまるものすべてを選んでください。^{*}

- 富士北麓地域
- 山梨県内の別の地域
- 山梨県以外の地域

問5 今回の旅行の主な目的について、当てはまるものをすべて選んでください。^{*}

- ご来光
- 富士登山
- 世界遺産観光
- 世界遺産以外の歴史名所旧跡観光
- 自然名所観光
- レジャー施設
- ホテル・民宿などの宿泊施設の利用
- グルメ、食べ歩き
- ドライブ
- 保養、休養、避暑など
- イベント参加
- 家族旅行、家族との親睦
- 友人・知人・恋人との親睦
- 通過点に過ぎない
- 特にない
- その他: _____



問6 どこから富士北麓地域に入ったか、当てはまるもの一つを選んでください。

*

- 御殿場方面からこの地域へ入った
- 大月方面から鉄道（富士急）を使ってこの地域へ入った
- 大月方面から中央自動車または一般道を通ってこの地域に入った
- 甲府方面から御坂峠を越えてこの地域に入った
- 甲府方面から精進湖を通ってこの地域に入った
- 身延方面から本栖湖を通ってこの地域に入った
- 富士宮方面からこの地域へ入った
- 地域内に住んでいる、または別荘に住んでいる
- わからない
- その他: _____

問7-1 富士北麓地域に入った月日をご記入ください。 *

日付

年 / 月 / 日 □

問7-2 富士北麓地域に入ったおおよその時刻をご記入ください（おおよそで結構です）。 *

時刻

__ : __



問8 富士北麓地域から帰る際に、どこに向かって移動したか、当てはまるもの一つを選んでください（予定含む）。

- 御殿場方面へ移動した
- 鉄道（富士急）を使って大月方面へ移動した
- 中央自動車または一般道を通って大月方面へ移動した
- 御坂峠を越えて甲府方面へ移動した
- 精進湖を通って甲府方面へ移動した
- 本栖湖を通って身延方面へ移動した
- 富士宮方面へ移動した
- 地域内に住んでいる、または別荘に住んでいる
- わからない
- その他: _____

問9-1 富士北麓地域から出た月日をご記入ください。*

日付

年 / 月 / 日 ☰

問9-2 富士北麓地域から出たおおよその時刻をご記入ください（おおよそで結構です）。*

時刻

__ : __

3/6 ページ

戻る

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



富士北麓地域の観光に関するアンケート

*必須

今回の旅行中に立ち寄った場所を教えてください。

問10 山中湖村で立ち寄った場所として、当てはまるものすべてを選んでください。*

- 山中湖
- 通ったが立ち寄らなかった
- 通らなかった
- 分からない
- その他: _____

問11 忍野村で立ち寄った場所として、当てはまるものすべてを選んでください。*

- 忍野八海
- 忍野しのびの里
- 通ったが立ち寄らなかった
- 通らなかった
- 分からない
- その他: _____



問12 富士吉田市で立ち寄った場所として、当てはまるものすべてを選んでください。*

- 北口本宮富士浅間神社
- 富士山駅
- 道の駅富士吉田
- 富士急ハイランド
- 新倉山浅間公園（忠霊塔）
- 富士山五合目
- 富士山頂
- 通ったが立ち寄らなかった
- 通らなかった
- 分からない
- その他: _____

問13 富士河口湖町で立ち寄った場所として、当てはまるものすべてを選んでください。*

- 河口湖
- ロープウェイ
- 道の駅かつやま
- 河口湖駅
- 西湖
- 精進湖
- 本栖湖
- 富岳風穴
- 通ったが立ち寄らなかった
- 通らなかった
- 分からない
- その他: _____

問14 鳴沢村で立ち寄った場所として、当てはまるものすべてを選んでください。*

- 道の駅なるさわ
- 鳴沢氷穴
- 通ったが立ち寄りなかった
- 通らなかった
- 分からない
- その他: _____

問15 立ち寄った場所がどの市町村にあるかわからない場合は、下記にご記入ください。ない場合は「次へ」を押してください。

回答を入力

4/6 ページ

戻る

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



富士北麓地域の観光に関するアンケート

*必須

今回の旅行の移動手段と滞在時間を教えてください。

問16 自宅（出発地）と富士北麓地域間の主な移動手段を一つ選んでください。*

- 電車
- 高速バス
- 路線バス
- 観光ツアーバス
- マイカー
- レンタカー
- タクシー
- 自転車
- 移動手段は利用していない
- その他: _____



問17 富士北麓地域内での主な移動手段を一つ選んでください。*

- 電車
- 高速バス
- 路線バス
- 観光ツアーバス
- マイカー
- レンタカー
- タクシー
- 自転車
- 移動手段は利用していない
- その他: _____

問18-1 山中湖村での宿泊数を教えてください。*

- 宿泊しなかった
- 1泊
- 2泊
- 3泊
- その他: _____

問18-2 忍野村での宿泊数を教えてください。*

- 宿泊しなかった
- 1泊
- 2泊
- 3泊
- その他: _____

問18-3 富士吉田市（富士山山小屋含む）での宿泊数を教えてください。*

- 宿泊しなかった
- 1泊
- 2泊
- 3泊
- その他: _____

問18-4 富士河口湖町での宿泊数を教えてください。*

- 宿泊しなかった
- 1泊
- 2泊
- 3泊
- その他: _____

問18-5 鳴沢村での宿泊数を教えてください。*

- 宿泊しなかった
- 1泊
- 2泊
- 3泊
- その他: _____

問19-1 山中湖村でのおおよその滞在時間（宿泊時間含む）を1時間単位で教えてください。立ち寄っていない場合は0とお答えください。*

回答を入力

問19-2 忍野村でのおおよその滞在時間（宿泊時間含む）を1時間単位で教えてください。立ち寄っていない場合は0とお答えください。*

回答を入力

問19-3 富士吉田市でのおおよその滞在時間（宿泊時間・富士登山含む）を1時間単位で教えてください。立ち寄っていない場合は0とお答えください。*

回答を入力

問19-4 富士河口湖町でのおおよその滞在時間（宿泊時間・富士登山含む）を1時間単位で教えてください。立ち寄っていない場合は0とお答えください。*

回答を入力

問19-5 鳴沢村でのおおよその滞在時間（宿泊時間・富士登山含む）を1時間単位で教えてください。立ち寄っていない場合は0とお答えください。*

回答を入力

問20 今回の旅行で富士北麓地域での滞在日数を増やすことは可能だったでしょうか。それとも仕事や家族の都合などで増やすことはできなかったでしょうか。*

- 滞在日数を増やすことは可能だった
- 滞在日数を増やすことはできなかった

問21 滞在日数を増やすことは可能だったと答えた方にうかがいます。何日増やすことが可能だったでしょうか。

- 1日
- 2日
- 3日
- 4日以上
- その他: _____

問22 山梨県では富士北麓地域内の周遊の促進を図っています。どのような条件が整えば、今回の旅行または今後の旅行で、あなたは富士北麓地域内の周遊を行いたい（またはより多くの場所を周遊したい）と思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。*

- 連休が取れる
- 富士北麓地域内の渋滞が減る
- 駐車場が増える
- 自宅から富士北麓地域までの間の渋滞が減る
- 子供が楽しめる場所が増える
- 美味しいものが食べられる
- 特にない
- その他: _____

5/6 ページ

戻る

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



富士北麓地域の観光に関するアンケート

*必須

最後にあなたご自身についてうかがいます

どちらの会社の携帯電話（スマートフォン）をお持ちでしょうか。当てはまるものをすべて選んでください。*

NTTドコモ

au

ソフトバンク

使用していない

その他: _____

性別 *

男性

女性

住所（都道府県） *

選択

住所（市区町村） *

回答を入力

年齢*

- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70歳以上

世帯の年収

- 200万円未満
- 200万円台
- 300万円台
- 400万円台
- 500万円台
- 600万円台
- 700万円台
- 800万円台
- 900万円台
- 1000万円台
- 1100万円台
- 1200万円台
- 1300万円台
- 1400万円台
- 1500万円以上

6/6 ページ

戻る

送信



Google フォームでパスワードを送信しないでください。



富士北麓地域の観光に関するアンケート

アンケートは以上です。長時間にわたりご協力ありがとうございました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

Web アンケート調査票

▶ 【当WEBシステム利用上の注意】

再ログイン時には下記ID番号、パスワードが必要です。
 <ID番号、パスワードをメモしておくことをお薦めします>

ID番号:	\$AId
パスワード:	\$Af

- 回答中に前ページに戻る際には、ページの一番下の「戻る」ボタンをクリックしてください。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないようご注意ください。
- 回答を途中で中断し、後で再開することも可能です。中断する場合は、ページの一番下の「一時保存をして中断」ボタンをクリックして下さい。
- アンケートを再開される場合は、依頼メールに記載されているURLを再度クリックしていただくか、マイページの本アンケートへのリンクをクリックしてください。中断した箇所よりアンケートを再開します。
- 回答期間中は、土日も含め24時間回答可能です。
- 推奨ブラウザはWindowsでは「Internet Explorer11」「Chrome」です。これ以外のブラウザでは回答時にエラーが出る可能性があります。
- 一度、回答を完了すると再回答はできませんのでご注意ください。
- 回線の混雑などが原因で反応が遅くなることがあります。ご了承ください。

次へ ▶

- 回答内容により質問番号が飛ぶことがありますが、気にせずにご回答ください。
- 回線の混雑などが原因で反応が遅くなることがあります。ご了承ください。
- ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



▶ アンケート結果は集計し、個人を特定できない形で報告書や学術論文として公表する予定です。

S1

上記の内容をご理解いただいた上で、下記をご回答いただき、調査画面へお進みください。 (ひとつだけ)

- (s01)=1○ 説明を理解し調査に協力する
 (s01)=2○ 調査に協力しない

このページに入力したものを全てクリアする

一時保存をして中断

次へ ▶

(調査NO. 19-436-0566)



Q1

あなたの性別をお答えください。 (ひとつだけ)

- (q01)=1○ 男性
 (q01)=2○ 女性

Q2

あなたの年代をお答えください。

(ひとつだけ)

- (q02)=1○ 10代
- (q02)=2○ 20代
- (q02)=3○ 30代
- (q02)=4○ 40代
- (q02)=5○ 50代
- (q02)=6○ 60代
- (q02)=7○ 70代

Q3

あなたのお住まいをお答えください。

(ひとつだけ)

- (q03)= ▾以下から選択
- (q03)=01 北海道
- (q03)=02 青森県
- (q03)=03 岩手県
- (q03)=04 宮城県
- (q03)=05 秋田県
- (q03)=06 山形県
- (q03)=07 福島県
- (q03)=08 茨城県
- (q03)=09 栃木県
- (q03)=10 群馬県
- (q03)=11 埼玉県
- (q03)=12 千葉県
- (q03)=13 東京都
- (q03)=14 神奈川県
- (q03)=15 新潟県
- (q03)=16 富山県
- (q03)=17 石川県
- (q03)=18 福井県
- (q03)=19 山梨県
- (q03)=20 長野県
- (q03)=21 岐阜県
- (q03)=22 静岡県
- (q03)=23 愛知県
- (q03)=24 三重県
- (q03)=25 滋賀県
- (q03)=26 京都府
- (q03)=27 大阪府
- (q03)=28 兵庫県
- (q03)=29 奈良県
- (q03)=30 和歌山県

か。
行ったことがない方は、興味はありますか。

- (q04)=1○ 行ったことがある
(q04)=2○ 行ったことはないが、興味はある
(q04)=3○ 行ったことはなく、興味もない

このページに入力したものを全てクリアする

戻る

次へ

一時保存をして中断

- ・ 回答内容により質問番号が飛ぶことがありますが、気にせずにご回答ください。
- ・ 回答の滞りなどが原因で反応が薄くなる場合があります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)

NIKKEI-R

観光についてのアンケート

文字サイズ

▶ 【ご回答ありがとうございます。引き続き、アンケートにご回答ください。】

- ・ 次へボタンを押してください。

次へ

- ・ 回答内容により質問番号が飛ぶことがありますが、気にせずにご回答ください。
- ・ 回答の滞りなどが原因で反応が薄くなる場合があります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)

NIKKEI-R

観光についてのアンケート

文字サイズ

Q5

富士北麓地域への観光、レジャー、ハイキング、登山、イベント、合宿、別荘滞在はこれまでに何回ありますか。

(ひとつだけ)

- (q05)=1○ 1回
(q05)=2○ 2回
(q05)=3○ 3回
(q05)=4○ 4回
(q05)=5○ 5回以上
(q05)=6○ わからない

Q6

最近だといつですか。

(ひとつだけ)

- (q06)=1○ 2019年 (今年)
(q06)=2○ 2018年
(q06)=3○ 2017年

- (q06)=4 2016年
- (q06)=5 2015年
- (q06)=6 2014年以前
- (q06)=7 わからない

このページに入力したものを全てクリアする

次へ

一時保存をして中断

- ・ 回答内容により質問番号が飛ぶことがあります。気にせずにご回答ください。
- ・ 回線の混雑などが原因で反応が遅くなる場合があります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



観光についてのアンケート



Q7

Q6で答えた最近の観光、レジャー、ハイキング、登山、イベント、合宿、別荘滞在の際に下記のどこを訪れましたか。いくつでもお答えください。

(いくつでも)

- (q07_01)=1 富士山頂
- (q07_02)=1 北口本宮富士浅間神社
- (q07_03)=1 新倉山浅間公園 (忠霊塔)
- (q07_04)=1 富士山吉田ロスカバルライン五合目
- (q07_05)=1 富士急ハイランド
- (q07_06)=1 河口湖
- (q07_07)=1 本栖湖
- (q07_08)=1 精進湖
- (q07_09)=1 富岳風穴
- (q07_10)=1 山中湖
- (q07_11)=1 忍野八海
- (q07_12)=1 道の駅なるさわ
- (q07_13)=1 鳴沢氷穴
- (q07_14)=1 その他 (具体的に: (q07_14x) _____)
- (q07_15)=1 わからない

Q8

富士北麓地域にまた来たいと思いますか。

(ひとつだけ)

- (q08)=1 とても思う
- (q08)=2 やや思う
- (q08)=3 どちらとも言えない
- (q08)=4 やや思わない
- (q08)=5 とても思わない

このページに入力したものを全てクリアする

戻る

次へ

一時保存をして中断

- ・ 回答内容により質問番号が飛ぶことがあります。気にせずにご回答ください。
- ・ 回線の混雑などが原因で反応が遅くなる場合があります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



▶ 富士北麓の観光案内

これから富士北麓地域の主な観光スポットを紹介します。

<富士吉田市>
北口本宮富士浅間神社
1900年以上の歴史があり、富士山の北口(吉田口)登山道の起点です。本殿をはじめ境内11棟の建造物は国の重要文化財に指定されています。世界遺産構成資産。



世界遺産

<富士吉田市>
新倉山浅間公園(忠霊塔)
富士山と五重塔(忠霊塔)を一目に見ることができる。公園内には約650本の桜が植えられ、春は花、秋は紅葉越しに富士山を眺めることができます。



自然名所

<富士吉田市>
富士山吉田ロスパライン五合目
天と地の境、富士山五合目、標高2305mで富士スパララインの終点。富士山頂を眺めたり、山麓の景色を楽しんだりできるほか、土産物屋やレストランがあります。



自然名所

一時保存をして中断

戻る

次へ

- ・ 回答内容により質問番号が飛ぶことがあります。気にせずにご回答ください。
- ・ 回答の遅延などが原因で回答が薄くなる場合があります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



▶ 富士北麓の観光案内

<富士河口湖町>
河口湖
湖畔には春には桜のスポット、初夏には紫のラベンダー、秋には紅葉と見どころが多数あります。世界遺産構成資産。



世界遺産

<富士河口湖町>
本栖湖
千円札の裏に描かれている富士山は本栖湖北岸から見たものです。秋には紅葉が湖畔を彩り、ヒメマス釣りを楽しめます。世界遺産構成資産。



世界遺産

<富士河口湖町>
精進湖
ヘラブナやブラックバスが生息して釣りスポットとして知られています。春は桜、秋は紅葉、冬は凍結した神秘的な湖面も楽しめます。世界遺産構成資産。



世界遺産

https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/spot/p1_482.html

<富士河口湖町>
富岳風穴
富士山の溶岩流が生み出した巨大な溶岩洞穴です。洞窟内は夏でも涼しく平均気温は3度。昔はお蚕の貯蔵や種子の保存のために使われていました。



自然名所

https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/spot/p1_4903.html

一時保存をして中断

戻る

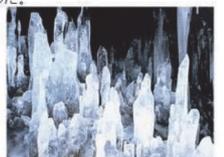
次へ

- ・ 回答内容により質問番号が飛ぶことがあります。気にせずにご回答ください。
- ・ 回答の遅延などが原因で回答が薄くなる場合があります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



▶ 富士北麓の観光案内

<p><山中湖村> 山中湖 カヌーやヨットなどのウォータースポーツなどが楽しめます。世界遺産構成資産の一つ。</p>  <p>世界遺産</p>	<p><忍野村> 忍野八海 富士山からの湧水により生じた八箇の池があり、それぞれに言い伝えがあります。八箇の池それぞれが世界遺産構成資産となっています。</p>  <p>世界遺産</p>
<p><鳴沢村> 道の駅なるさわ 富士山を目の前に眺望できる絶好のロケーションで、朝採りの地元特産品やお土産が並ぶ物産館や、なるさわ富士山博物館、自然探索路、溶岩樹型などがあります。</p>  <p>自然名所</p> <p><small>https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/specialty/n_2064.html</small></p>	<p><鳴沢村> 鳴沢氷穴 溶岩が流れ出た後にできた空洞で、青木ヶ原樹海内にあり、全長153mの溶岩洞穴です。平均気温は3度で、年間を通して氷柱があり、江戸時代には氷の貯蔵庫として使われました。</p>  <p>自然名所</p> <p><small>https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/spo/p_L_654.html</small></p>

一時保存をして中断

戻る

次へ

- ・ 回答内容により質問番号が飛ぶことがありますが、気にせずにご回答ください。
- ・ 回答の遅延などが原因で回答が重くなる場合があります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



日本一の高さ(標高3,776メートル)を持つ活火山、富士山。

2013年6月、第37回世界遺産委員会において、「富士山—信仰の対象と芸術の源泉—」の名称のもと世界文化遺産に登録されました。その背景には、富士山が『信仰の対象』であるとともに、『芸術の源泉』として、日本人の自然観や日本文化に大きな影響を与えてきた歴史があります。かつては噴火を繰り返す山として畏れられていた富士山は、富士講と呼ばれる信仰集団や浮世絵の登場などにより、日本人にとって身近な存在となりました。人と自然が信仰と芸術を通して共生する姿は、富士山が持つ大きな特徴と言えるでしょう。このため、富士山の山の部分だけでなく、周囲にある神社や登山道、風穴、溶岩樹型、湖沼など25の構成資産が、ユネスコ世界遺産委員会によって未来に受け継ぐべき世界の宝として認められました。

SQ1

世界文化遺産としての富士山は、山の部分だけでなく、周囲にある神社や登山道、風穴、溶岩樹型、湖沼など25の構成資産から成り立っていることを知っていましたか。

(ひとっだけ)

- (sq1)=1○ 25の構成資産から成り立っていることを知っていた
- (sq1)=2○ 構成資産がいくつかあることは知っていたが25もあることは知らなかった
- (sq1)=3○ 富士山の山の部分だけが世界文化遺産だと思っていた
- (sq1)=4○ 富士山が世界文化遺産であることを知らなかった

このページに入力したものを全てクリアする
一時保存をして中断

戻る 次へ

- 回答内容により質問番号が飛ぶことがありますが、気にせずにご回答ください。
- 回答の重複などが原因で反応が遅くなる場合があります。ご了承ください。
- ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)

NIKKEI-R

観光についてのアンケート 印刷 印刷 印刷
文字サイズ

Q9

富士北麓地域の観光スポットの中でどこに興味がありますか。
いくつでもお答えください。 (いくつでも)

(q09_01)=1 北口本宮富士浅間神社
(q09_02)=1 新倉山浅間公園 (忠霊塔)
(q09_03)=1 富士山吉田ロスパルライン五合目
(q09_04)=1 河口湖
(q09_05)=1 本栖湖
(q09_06)=1 精進湖
(q09_07)=1 富岳風穴
(q09_08)=1 山中湖
(q09_09)=1 忍野八海
(q09_10)=1 道の駅なるさわ
(q09_11)=1 鳴沢水穴
(q09_12)=1 どれも興味はない

このページに入力したものを全てクリアする
一時保存をして中断

戻る 次へ

- 回答内容により質問番号が飛ぶことがありますが、気にせずにご回答ください。
- 回答の重複などが原因で反応が遅くなる場合があります。ご了承ください。
- ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)

NIKKEI-R

観光についてのアンケート 印刷 印刷 印刷
文字サイズ

▶ これから秋の富士北麓地域の日帰り観光コースをいくつか示しますので、それらを比べて、あなたが最も好ましいと思うものを選んでいただきます。用事などがあり実際には旅行ができない方も、旅行することを想像して選んで下さい。
これに先立ち、いくつか質問をします。

Q10

誰と一緒に行くことにしますか。 (ひとつだけ)

(q10)=1 ひとり
(q10)=2 家族
(q10)=3 恋人・友人
(q10)=4 職場の同僚
(q10)=5 その他

Q11

何人で行くことにしますか。ご自身を含めてお答えください。

(それぞれの項目についてお答えください)

大人 (18歳以上)	<input type="radio"/> (q11_1)= - <input type="radio"/> (q11_1)=01 1人 <input type="radio"/> (q11_1)=02 2人 <input type="radio"/> (q11_1)=03 3人 <input type="radio"/> (q11_1)=04 4人 <input type="radio"/> (q11_1)=05 5人 <input type="radio"/> (q11_1)=06 6人 <input type="radio"/> (q11_1)=07 7人 <input type="radio"/> (q11_1)=08 8人 <input type="radio"/> (q11_1)=09 9人 <input type="radio"/> (q11_1)=10 10人以上	
子供 (18歳未満)	<input type="radio"/> (q11_2)= - <input type="radio"/> (q11_2)=00 0人 <input type="radio"/> (q11_2)=01 1人 <input type="radio"/> (q11_2)=02 2人 <input type="radio"/> (q11_2)=03 3人 <input type="radio"/> (q11_2)=04 4人 <input type="radio"/> (q11_2)=05 5人 <input type="radio"/> (q11_2)=06 6人 <input type="radio"/> (q11_2)=07 7人 <input type="radio"/> (q11_2)=08 8人 <input type="radio"/> (q11_2)=09 9人 <input type="radio"/> (q11_2)=10 10人以上	

Q12

富士北麓地域内での交通手段は何を使いたいですか。

(ひとつだけ)

(q12)=1〇 自家用車 (自分が運転、または同行者が運転)
 (q12)=2〇 レンタカー (自分が運転、または同行者が運転)
 (q12)=3〇 タクシー
 (q12)=4〇 ツアーバス
 (q12)=5〇 路線バス
 (q12)=6〇 その他 (具体的に: (q12_6x) _____)

このページに入力したものを全てクリアする

戻る

次へ

一時保存をして中断

- ・ 回答内容により質問番号が異なる場合がありますが、気にせずにご回答ください。
- ・ 回答の添字などが印刷で表示が薄くなる場合があります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



それではこれから次のような形で秋の富士北麓地域の日帰り観光コースをいくつか示します。それらを比べて、あなたが最も好ましいと思うものを1つそれぞれ選んでください。

【日帰り観光コース例】

	コース 1	コース 2	
主な目的	世界遺産メ イン	世界遺産・ 自然名所	この中から は選ばない
主な訪問地域	北麓全般	河口湖・富 士吉田	
域内での移動手段	自動車	ツアーバス	
域内での1人当 たり交通費 (子供は半額)	2000円	4000円	
最も好ましいもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

- どのコースでもお土産を売場と昼食を食べる場所（ほうとうまたは吉田のうどん）に立ち寄ります。
- 主な訪問地域は、「河口湖・富士吉田」は富士河口湖町・富士吉田市の観光スポットを訪問します。
「北麓全般」は富士河口湖町・富士吉田市・山中湖村・忍野村・鳴沢村の観光スポットを訪問します。
- 当地域までのアクセスは、域内での移動手段が「路線バス」の場合は電車が高速バスです。
「ツアーバス」「自動車」の場合は当地域までそれぞれ「ツアーバス」「自動車」でアクセスします。
- 域内での1人当たり交通費は、当地域内にかかる交通費を指します。当地域までの往復の交通費は含みません。域内での1人当たり交通費の内訳は、路線バスであれば路線バス料金、ツアーバスであればツアー料金のうち交通費相当額、自動車であればガソリン代および駐車料金です。
- この質問は全部で3問あります。

一時保存して中断

戻る

次へ

- ・ 回答内容により質問番号が飛ぶことがありますが、気にせずにご回答ください。
- ・ 回答の遅延などが原因で回答が疎かになることがあります。ご了承ください。
- ・ プラザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



Q13T01

以下の日帰り観光コースの中で、あなたが最も好ましいと思うものを1つ、それぞれ選んでください。

(ひとつだけ)

	コース 1	コース 2	
主な目的	\$Aq13t01_c1_a1	\$Aq13t01_c2_a1	この中からは選ばない
主な訪問地域	\$Aq13t01_c1_a2	\$Aq13t01_c2_a2	
域内での移動手段	\$Aq13t01_c1_a3	\$Aq13t01_c2_a3	
域内での1人当 たり交通費（子供は半額）	\$Aq13t01_c1_a4	\$Aq13t01_c2_a4	
	コース 1	コース 2	
	1	1	1
	(q13t01)=1○	(q13t01)=2○	(q13t01)=3○

戻る

次へ

このページに入力したものを全てクリアする

一時保存をして中断

- ・ 回答内容により質問番号が飛ぶことがありますが、気にせずにご回答ください。
- ・ 回答の選択などが原因で反応が薄くなる場合があります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



観光についてのアンケート



Q13T02

以下の日帰り観光コースの中で、あなたが最も好ましいと思うものを1つ、それぞれ選んでください。

(ひとつだけ)

	コース1	コース2	
主な目的	\$Aq13t02_c1_a1	\$Aq13t02_c2_a1	この中からは選ばない
主な訪問地域	\$Aq13t02_c1_a2	\$Aq13t02_c2_a2	
域内での移動手段	\$Aq13t02_c1_a3	\$Aq13t02_c2_a3	
域内での1人当たり交通費（子供は半額）	\$Aq13t02_c1_a4	\$Aq13t02_c2_a4	
	コース1	コース2	
	↓	↓	↓
	(q13t02)=1○	(q13t02)=2○	(q13t02)=3○

このページに入力したものを全てクリアする

戻る

次へ

一時保存をして中断

- ・ 回答内容により質問番号が飛ぶことがありますが、気にせずにご回答ください。
- ・ 回答の選択などが原因で反応が薄くなる場合があります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



観光についてのアンケート



Q13T03

以下の日帰り観光コースの中で、あなたが最も好ましいと思うものを1つ、それぞれ選んでください。

(ひとつだけ)

	コース1	コース2	
主な目的	\$Aq13t03_c1_a1	\$Aq13t03_c2_a1	この中からは選ばない
主な訪問地域	\$Aq13t03_c1_a2	\$Aq13t03_c2_a2	
域内での移動手段	\$Aq13t03_c1_a3	\$Aq13t03_c2_a3	
域内での1人当たり交通費（子供は半額）	\$Aq13t03_c1_a4	\$Aq13t03_c2_a4	
	コース1	コース2	
	↓	↓	↓
	(q13t03)=1○	(q13t03)=2○	(q13t03)=3○

戻る

次へ

このページに入力したものを全てクリアする

一時保存をして中断

- ・ 回答内容により質問番号が重複することがありますが、気にせずにご回答ください。
- ・ 回答の滞りなどが原因で送信が滞ることがあります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



観光についてのアンケート



Q14

職業

(ひとつだけ)

- (q14)=1○ 公務員
- (q14)=2○ 会社員・団体職員
- (q14)=3○ 会社経営者
- (q14)=4○ 自営業
- (q14)=5○ 学生
- (q14)=6○ 主夫・主婦
- (q14)=7○ パート・アルバイト
- (q14)=8○ 無職
- (q14)=9○ その他 (具体的に: (q14_9x))

Q15

世帯年収 (年金含む)

(ひとつだけ)

- (q15)=01○ 200万円未満
- (q15)=02○ 200万円台
- (q15)=03○ 300万円台
- (q15)=04○ 400万円台
- (q15)=05○ 500万円台
- (q15)=06○ 600万円台
- (q15)=07○ 700万円台
- (q15)=08○ 800万円台
- (q15)=09○ 900万円台
- (q15)=10○ 1000万円台
- (q15)=11○ 1100万円台
- (q15)=12○ 1200万円以上
- (q15)=13○ 答えたくない・わからない

このページに入力したものを全てクリアする

戻る

送信

- ・ 回答内容により質問番号が重複することがありますが、気にせずにご回答ください。
- ・ 回答の滞りなどが原因で送信が滞ることがあります。ご了承ください。
- ・ ブラウザの戻るボタンで戻った場合、回答が正しく受け付けられない場合があります。その場合、再度アンケートを最初からやり直して下さい。

(調査NO. 19-436-0566)



R-01-2022

令和4年度
山梨県富士山科学研究所研究報告書
第50号

MFRI Research Report

2022年発行

編集・発行
山梨県富士山科学研究所

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1

電話 : 0555-72-6211

FAX : 0555-72-6204

<https://www.mfri.pref.yamanashi.jp/>
